2-148-332-**01** (2)

Data Projector

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と別冊の「安全のために」および付属のCD-ROMに入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CS7
VPL-ES2

この説明書について

この説明書では、本機を接続してから映すまでの簡単な操作方法を説明しています。
また使用上のご注意やメンテナンスの際に必要な情報が記載されています。
操作方法について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書をご覧ください。
また安全のための注意事項は、別冊の「安全のために」をご覧ください。

CD-ROM取扱説明書の見かた

付属のCD-ROMには、ReadMeおよび取扱説明書が収録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語）。まず最初にReadMeをご覧ください。

準備

付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader5.0以降が必要です。Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。（無料）

取扱説明書を読むには

付属のCD-ROMを、コンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROMが自動的に起動します。
読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROMの中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROMが自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

（Windowsの場合）

①「マイコンピュータ」を開く。
②「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

（Macintoshの場合）

①デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
②「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htmファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

商標について

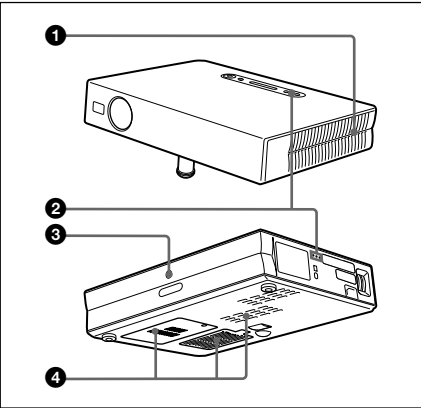
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- MacintoshはApple Computer Inc.の米国及びその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステム社）の米国及び各国での登録商標です。

目次

使用上のご注意

吸気・排気口についてのご注意

吸気・排気口をふさがないでください。吸気・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。以下イラストにて吸気・排気口の位置をご確認ください。

その他注意事項については、別冊の「安全のために」をよくお読みください。

❶ 排気口
❷ インジケーター
❸ リモコン受光部
❹ 吸気口

JP

電源接続時のご注意

それぞれの地域にあった電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_1)	YP332
コネクタ型名	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
コード型名	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安
コード長さ(最長)	4.5m		—			

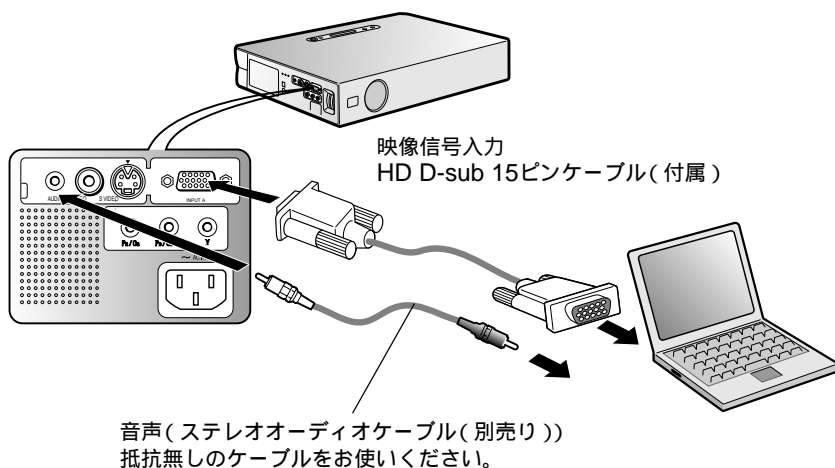
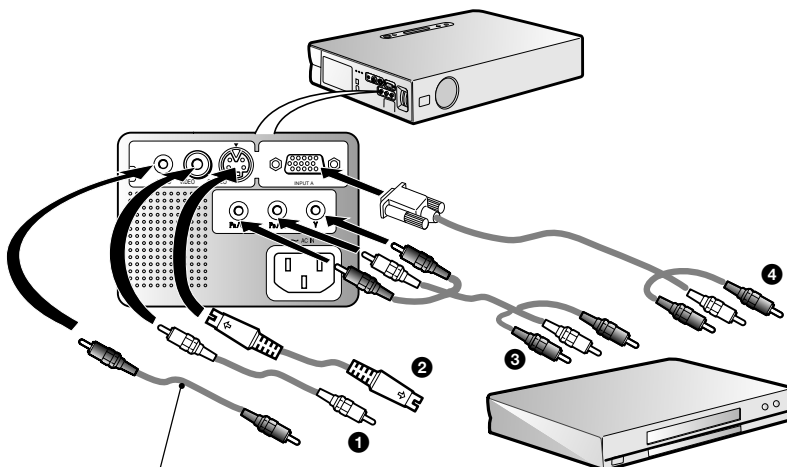
1)プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

画像を映す

接続する

接続するときは

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子にあった形状の正しい物を選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
（本接続図はVPL-ES2を使用しています。）

ビデオ・DVD機器との接続

音声（ステレオオーディオケーブル（別売り））
抵抗無しのケーブルをお使いください。

以下の4通りの方法があります。

❶ コンポジットビデオ（ピンジャック）*ケーブル（別売り）
❷ Sビデオ（MiniDIN4-pin）*ケーブル（別売り）
❸ コンポーネント（ピンジャック×3）（VPL-ES2のみ）*ケーブル（別売り）
（75Ω同軸ケーブルをご使用ください。）
❹ コンポーネント（D-sub15-pin ←→ ピンジャック×3）*ケーブル（別売り）

❹ で接続した場合、メニューで「入力A信号種別」の設定が必要です。
詳しくはCD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

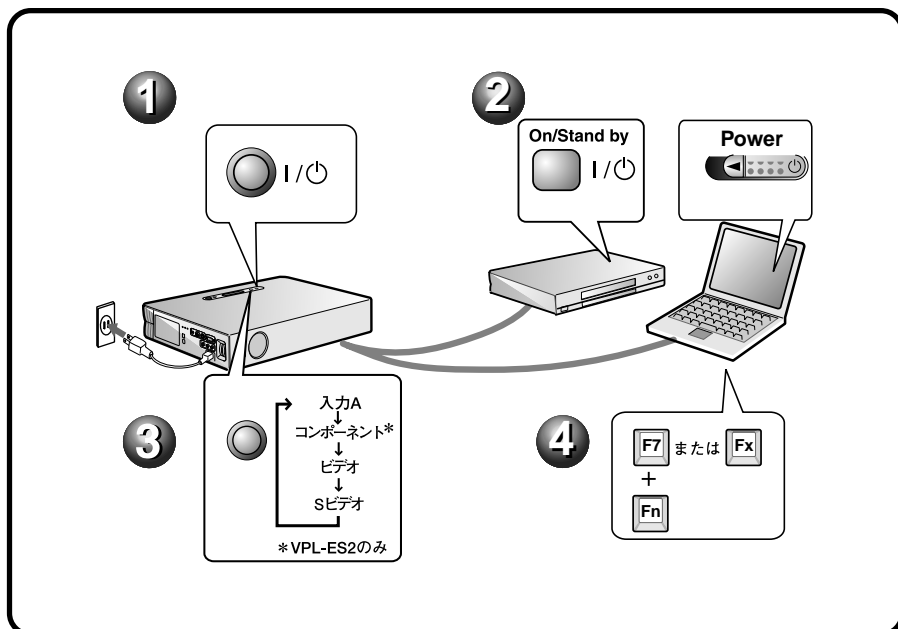
映す

各機器の接続をする前に電源コードをコンセントに差し込んでください。

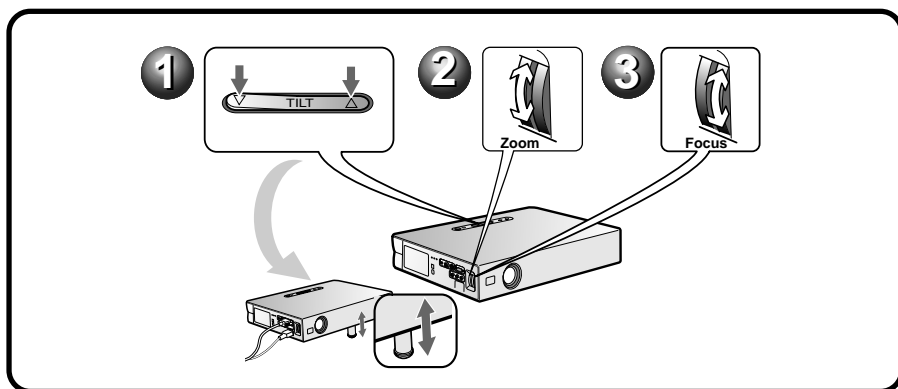
❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

❸ INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

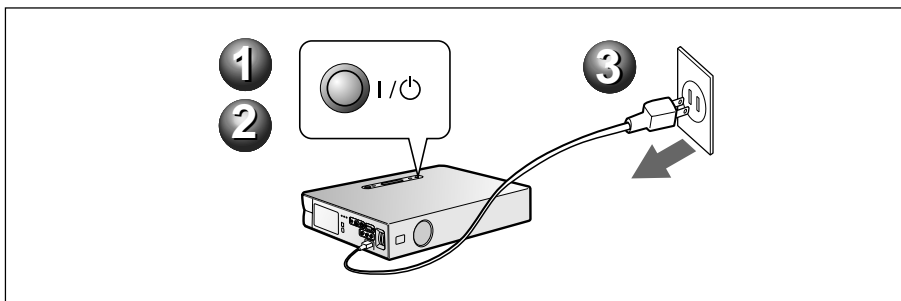
❹ コンピューターの接続時には映像信号の出力先を切り換える。

調整する

❶ 画像の位置を調整する。
❷ 画像の大きさを調整する。
❸ 画像のフォーカスを調整する。

画質モードを選べる画質設定メニューや、最適な画面のアスペクト比（縦横比）を選べる信号設定メニューがあります。詳しくはCD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

電源を切る

❶ I/⏻(オン / スタンバイ) キーを押す。
❷ メッセージが表示されたらもう一度I/⏻(オン / スタンバイ) キーを押す。
❸ ファンが止まり、オン / スタンバイインジケーターが赤く点灯したら、電源コードを抜く。

ご注意

- ファンが回っている間は電源コードを抜かないでください。故障の原因となることがあります。（VPL-ES2のみ）
- オフ&ゴー機能の内蔵回路により、I/⏻ キーで電源を切りON/STANDBYインジケーターが赤色に変わってからも、しばらくの間ファンが稼動していることがあります。（VPL-CS7のみ）

ランプを交換する

ご注意

- 新しいランプは、必ず交換用ランプLMP-E180（VPL-CS7用）、LMP-E150（VPL-ES2用）をお使いください。それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。
- ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

I/⏻キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプを充分に冷やすため、ランプ交換は、本機の電源を切ってから1時間以上たってから行ってください。

⚠注意

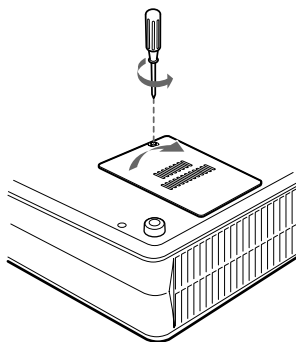
- ランプが破損している場合は、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
- ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

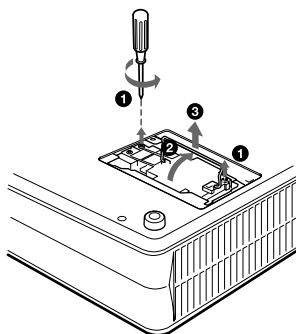
2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

ご注意

本機を、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（1本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 ランプのネジ（2本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ハンドルを起こし（❷）ランプを引き出す（❸）。

5 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（2本）を締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。

ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを閉め、ネジ（1本）を締める。

7 本機の向きを元に戻す。

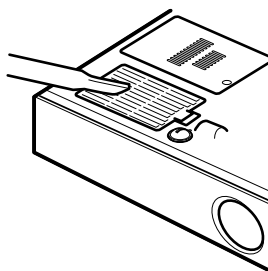
8 電源コードを接続する。
I/⏻キー周囲のON/STANDBYインジケーターが赤色に点灯します。

9 リモートコマンダーのキーをRESETキー、◀キー、▶キー、ENTERキーの順に、それぞれ5秒以内に押す。

⚠警告

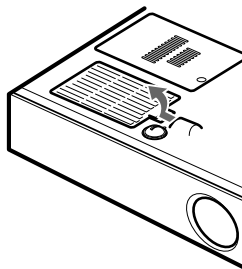
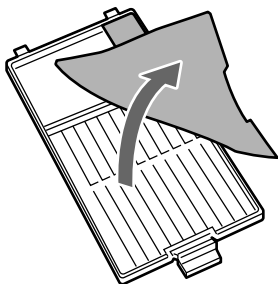
ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

エアーフィルターをクリーニングする

約500時間ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。「フィルターを掃除してください」というメッセージが表示されたら、吸気口の外側から掃除機で掃除してください。
500時間は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。

掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずし洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。

3 エアーフィルターカバーをはずす。

4 エアーフィルターをはずす。

5 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

6 エアーフィルターをはめて、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。

ご注意

- エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。
- フィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアーフィルターと交換してください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、本機内部にゴミが入り、故障の原因となることがあります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

メッセージ一覧

症状	原因と対処
電源が入らない。	• I / ⏻キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 → 約90秒たってから電源を入れてください。 • ランプカバーがはずれている。 → ランプカバーをしっかりとはめてください。
電動チルトアジャスター、レンズプロテクターが閉まらない。	• 電源を切らずに電源プラグを抜いた。 → もう一度電源プラグをコンセントに差して、通電状態にしてから電源を切ってください。
映像が映らない。	• ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 → 接続を確認してください。 • 接続手順が正しくない。 → 手順を確認してください。 • 入力切り換えが正しくない。 → INPUTキーで正しく選んでください。 • 出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 → 出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。 → ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
画面にノイズが出る。	• 入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 → お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
INPUT A端子から入力している映像の色がおかしい。	• 初期設定メニューの「入力A信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 → 入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力A信号種別」で「コンピューター」、「ビデオGBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。
画面がぼやける。	• フォーカスが合っていない。 → フォーカスを合わせてください。 • 結露が生じた。 → 電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。

（つづく）

症状	原因と対処
画像がスクリーンからはみでている。	**・画像のまわりに黒い部分が残っている状態でAPAキーを押した。** **→ スクリーンいっぱいに画像を映してからAPAキーを押してください。** **→ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。**
画面がちらつく。	**・信号設定メニューの「ドットフェーズ」の設定が合っていない。** **→ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。**

インジケーター一覧

POWER SAVING	**点灯：**	**節電モード時に点灯します。**
TEMP/FAN	**点灯：**	**本機内部の温度が上がったときに点灯します。吸排気口をふさいでいないか確認してください。**
	点滅：	**ファンが故障したときに点滅します。お買い上げ店にご相談ください。**
LAMP/COVER	**点灯：**	**ランプ交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いときに点灯します。ランプが冷えてからもう一度電源を入れるか、ランプを交換してください。**
	点滅：	**ランプカバーがはずれているとき、または正しく装着されていないときに点滅します。** **ランプカバーが正しく装着されているか確認してください。**
I/⏻ インジケーター	**赤色点灯：**	**スタンバイ状態。I/⏻（オン／スタンバイ）キーで電源を入れることができます。**
	緑色点灯：	**電源が入っている状態。**
	緑色点滅：	**電源を切った後の数十秒間。点滅中は、再度、電源を入れることはできません。**

主な仕様

投影方式　3LCDパネル、1レンズ、3原色光シャッター方式

LCDパネル　0.62インチSVGA超高開口パネル、144万画素（480,000×3）

レンズ　1.2倍ズームレンズ（マニュアル）
f 18.0～21.6 mm/F 2.2～2.4

ランプ　VPL-CS7: 185W UHP
VPL-ES2: 157W UHP

投影画面サイズ
40インチ～300インチ

光出力　VPL-CS7: 1800 lm[1)]
VPL-ES2: 1500 lm[1)]
(ランプモード 高のとき)

[1)] 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911：2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については付属書2に基づいています。

投影距離（床置き）

SVGA入力時

スクリーンサイズ（インチ）	距離（m）
40	1.1～1.4
60	1.7～2.1
80	2.3～2.8
100	2.9～3.5
120	3.5～4.2
150	4.4～5.3
200	5.9～7.0
300	8.8～10.6

(設計値のため多少の誤差あり)

カラー方式　$NTSC_{3.58}$、PAL、SECAM、$NTSC_{4.43}$、PAL-M、PAL-N、PAL60自動切り換え／手動切り換え

対応コンピューター信号[1)]
fH: 19～72 kHz、fV: 48～92 Hz
(最高入力解像度信号：XGA
1024×768　fV: 85Hz)

1) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。詳しくは、CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

対応ビデオ信号
15k RGB/Component 50/60Hz, Progressive Component 50/60Hz DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i, 720/60p, 720/50p, 540/60p) Composite video, Y/C video

外形寸法　295×78×238 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　VPL-CS7: 約2.9 kg
VPL-ES2: 約2.8 kg

電源　AC100～240 V、50/60 Hz

消費電力　VPL-CS7: 最大250 W
VPL-ES2: 最大 220 W
（スタンバイモード時: 4.6W）

付属品　リモートコマンダー（1）
リチウム電池CR2025（1）
HD D-sub 15ピンケーブル（2 m）（1）（1-791-992-21）
ソフトケース（1）
電源コード（1）
交換用エアーフィルター（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

交換ランプ プロジェクターランプ
LMP-E180（VPL-CS7用）
LMP-E150（VPL-ES2用）

シグナルケーブル
SMF-402（HD D-sub 15ピン（オス）←→ 3×ピンジャック（オス））

About the Quick Reference Manual

This Quick Reference Manual explains the connections and basic operations of this unit, and gives notes on operations and information required for maintenance.
For details on the operations, refer to the Operating Instructions contained in the supplied CD-ROM.
For safety precautions, refer to the separate "Safety Regulations."

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions and ReadMe file in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish and Chinese. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open "My Computer."
② Right-click the CD-ROM icon and select "Explorer."
③ Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.
② Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

Note

If you cannot open "index.htm" file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in "Operating_Instructions" folder.

On trademarks

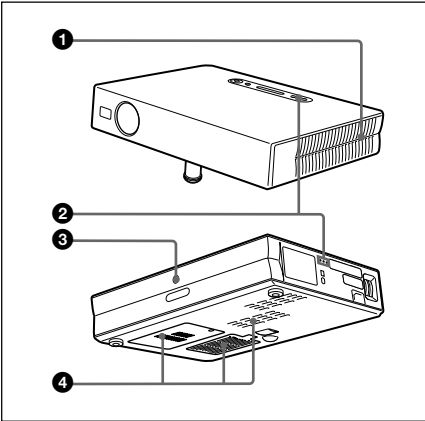
- Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Macintosh is a registered trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.
- Adobe and Acrobat Reader is a registered trademark of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Table of Contents

Notes on Use

Note on the Ventilation Holes

Do not block ventilation holes (exhaust/intake). If they are blocked, internal heat may build up and cause fire or damage to the unit.
Check the positions of the ventilation holes shown in the following illustrations.

For other precautions, read the separate “Safety Regulations” carefully.

1 Ventilation holes (exhaust)
2 Indicators
3 Remote control detector
4 Ventilation holes (intake)

GB

Note on the Power Cord

Use a proper power cord for your local power supply.

	The United States, Canada		Continental Europe		UK, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
Connector type	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Cord type	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Rated voltage/ Current	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Safety approval	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Cord length (max.)	4.5 m (14 feet 9 inches)		—			

1) Use an appropriate rating plug which is applied to local regulations.

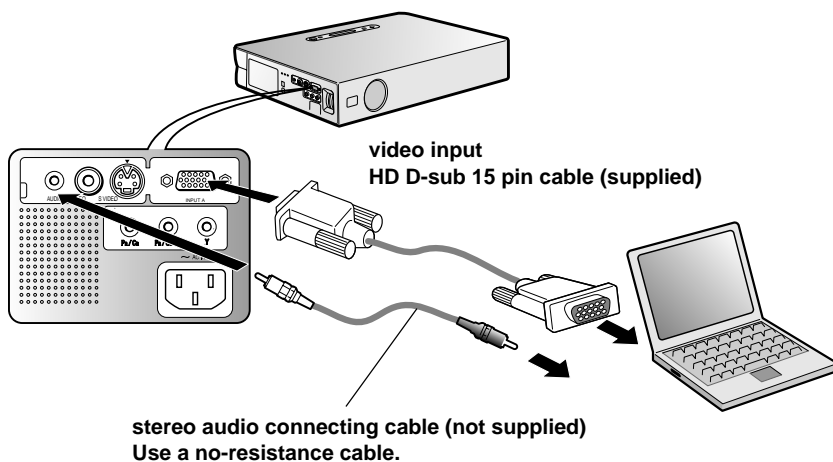
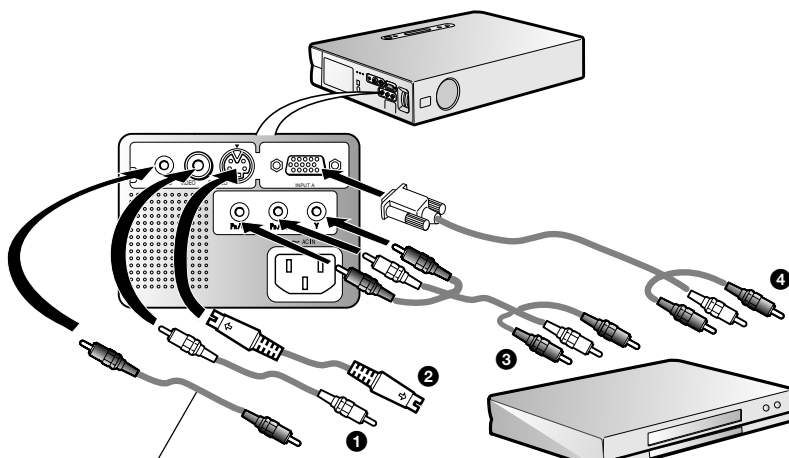
Projecting

Connecting the Projector

When you connect the projector, make sure to:

- Turn off all equipment before making any connections.
- Use the proper cables for each connection.
- Insert the cable plugs firmly. When pulling out a cable, be sure to pull it out from the plug, not the cable itself.

Refer also to the instruction manual of the equipment to be connected.
(The VPL-ES2 is used for the following illustrations.)

Connecting with a computer

Connecting with a VCR/DVD player

stereo audio connecting cable (not supplied)
Use a no-resistance cable.

For video signal connections, the following four connecting options are available:

❶ Composite video (phono plug)* cable (not supplied)
❷ S video (Mini DIN 4-pin)* cable (not supplied)
❸ Component (3 × phono plug)* (VPL-ES2 only) cable (not supplied)
(Use a 75 Ω coaxial cable)
❹ Component (D-sub 15-pin ⟷ 3 × phono plug)* cable (not supplied)

If connection ❹ is made, select the input signal with the “Input-A Signal Sel.” in the SET SETTING menu. For details, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

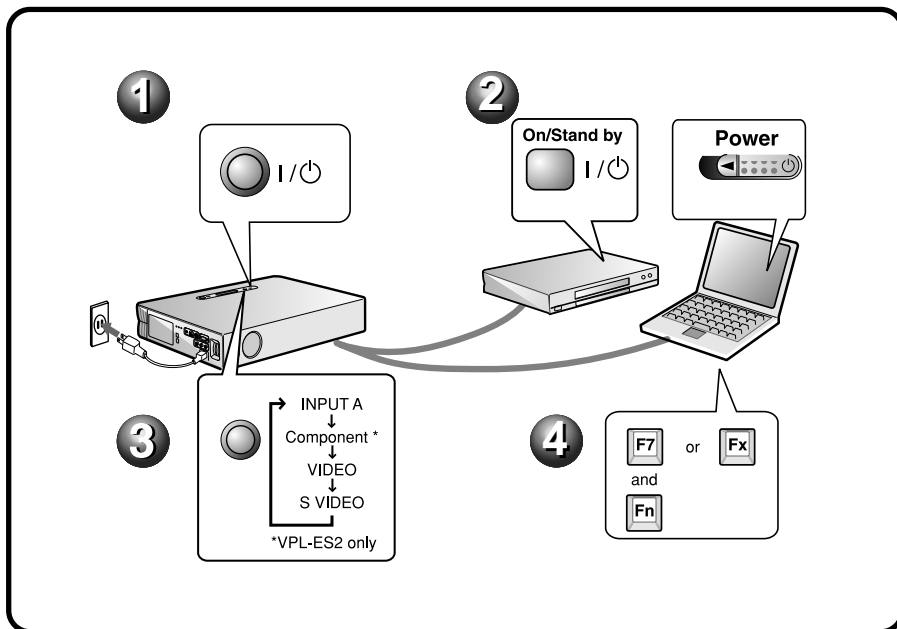
Projecting

Before connecting the equipments, plug the AC power cord into a wall outlet.

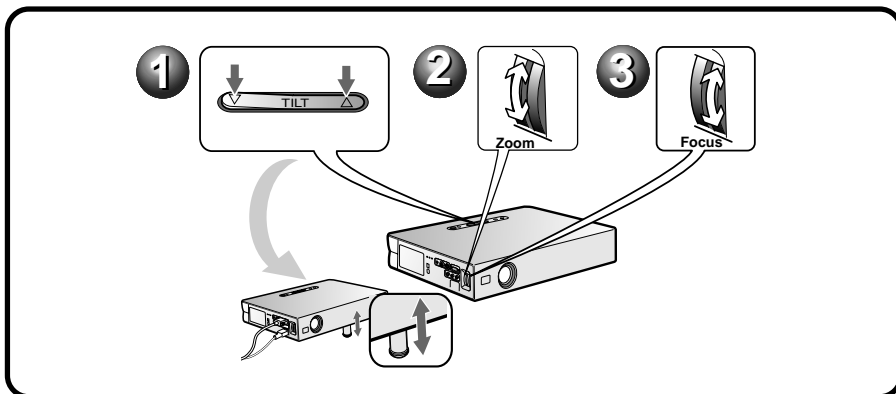
❶ Press the I/⏻ (on/standby) key.

❷ Turn on the equipment connected to the projector.

❸ Press the INPUT key to select the input source.

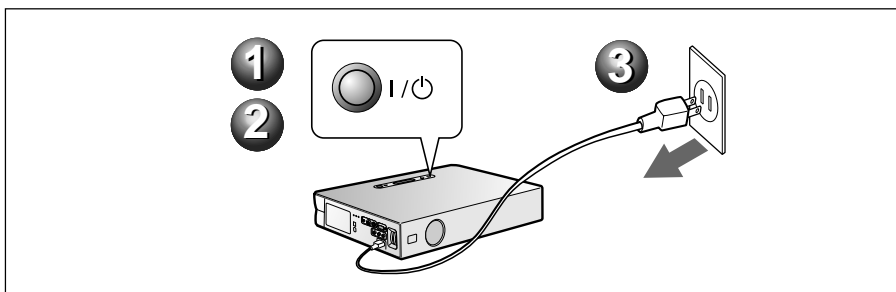
❹ When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.

Adjusting the Projector

1. Adjust the position of the picture.
2. Adjust the size of the picture.
3. Adjust the focus.

   The projector is equipped with the PICTURE SETTING menu to select the picture mode, and the INPUT SETTING menu to select the appropriate aspect ratio of the picture. For details, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Turning off the Power

1. Press the I/⏻ (on/standby) key.
2. When a message appears, press the I/⏻ (on/standby) key again.
3. Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the ON/STANDBY indicator has lit in red.

Notes

- Do not unplug the AC power cord while the fan is still running. Doing this may cause damage to the unit. (VPL-ES2 only)
- The internal circuitry of the Off & Go function may cause the fan to continue to operate for a short time even after the I/⏻ key is pressed to turn off the power and the ON/STANDBY indicator changes to red. (VPL-CS7 only)

Replacing the Lamp

Notes

- Use **LMP-E180 (VPL-CS7) / LMP-E150 (VPL-ES2)** Projector Lamp as the replacement lamp. Use of any other lamps than the LMP-E180 or the LMP-E150 may cause damage of the projector.
- Be sure to turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet before replacing the lamp.

Caution

The lamp becomes a high temperature after turning off the projector with the I/⏻ key. **If you touch the lamp, you may scald your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour for the lamp to cool.**

Notes

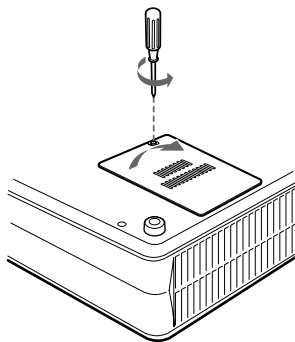
- **If the lamp breaks, consult with customer service center.**
- Pull out the lamp by holding the handle. If you touch the lamp, you may be burned or injured.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight up. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while tilted and if the lamp breaks, the pieces may scatter, causing injury.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

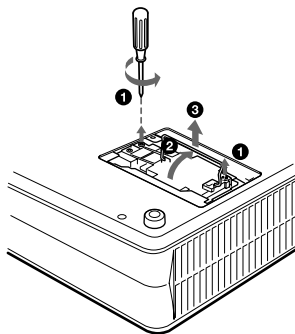
2 Place a protective sheet (cloth) beneath the projector. Turn the projector over so you can see its underside.

Note

Be sure that the projector is stable after turning it over.

3 Open the lamp cover by loosening a screw with the Phillips screwdriver.

Note

For safety sake, do not loosen any other screws.

4 Loosen the two screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶). Fold out the handle (❷), pull out the lamp unit by the handle (❸).

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place. Tighten the two screws. Fold the handle.

Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Close the lamp cover and tighten the screws.

7 Turn the projector back over.

8 Connect the power cord. The ON/STANDBY indicator around the I/⏻ key lights in red.

9 Press the following keys on the remote commander in the following order for less than five seconds each: RESET, ◄, ►, ENTER.

Note

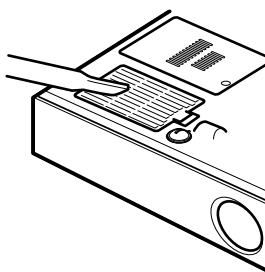
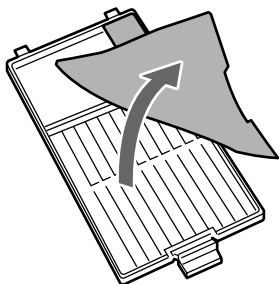
Do not put your hands into the lamp replacement spot, or not fall any liquid or object into it **to avoid electrical shock or fire**

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA

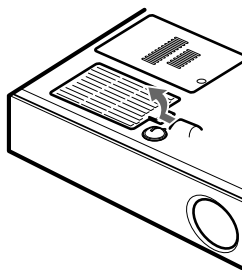
This product contains mercury. Disposal of this product may be regulated if sold in the Untied States. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or Electronics Industries Alliance (http://www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned every 500 hours.
Remove dust from the outside of the ventilation holes with a vacuum cleaner when the message "Please clean the filter" appears in the display.
500 hours are approximate. This value varies depending on the environment or how the projector is used.

When it becomes difficult to remove the dust from the filter with a vacuum cleaner, remove the air filter and wash it.

1 Turn off the power and unplug the power cord.

2 Place a protective sheet (cloth) beneath the projector and turn the projector over.

3 Remove the air filter cover.

4 Remove the air filter.

5 Wash the air filter with a mild detergent solution and dry it in a shaded place.

6 Attach the air filter and replace the cover.

Notes

- **If you neglect to clean the air filter, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.**
- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with the supplied new one.
- Be sure to attach the air filter cover firmly. Otherwise, dust may accumulate inside the projector, leading to a possible malfunction.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Messages

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The power has been turned off and on with the I/⏻ key at a short interval. → Wait for about 90 seconds before turning on the power. • The lamp cover is detached. → Close the lamp cover securely.
The powered tilt adjuster and the lens protector do not close.	• The AC power cord is unplugged with the power of the projector turned on. → Connect the power cord plug to the AC outlet again, then turn off the power of the projector.
No picture.	• Cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • Connections have been made according to the incorrect procedures. → Check the proper procedures. • Input selection is incorrect. → Select the input source correctly using the INPUT key. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. → Set the computer signal to output **only** to an external monitor. → Depending on the type of your computer, for example a notebook, or an all-in-one LCD type, you may have to switch the computer to output to the projector by pressing certain keys or by changing your computer's settings. For details, refer to the computer's operating instructions supplied with your computer.
The picture is noisy.	• Noise may appear on the background depending on the combination of the numbers of dot input from the connector and numbers of pixel on the LCD panel. → Change the desktop pattern on the connected computer.
The picture from INPUT A connector is colored strange.	• Setting of "Input-A Signal Sel." in the SET SETTING menu is incorrect. → Select "Computer," "Video GBR" or "Component" correctly according to the input signal.
The picture is not clear.	• Picture is out of focus. → Adjust the focus. • Condensation has occurred on the lens. → Leave the projector for about two hours with the power on.

Symptom	Cause and Remedy
The image extends beyond the screen.	• The APA key is pressed although there are black edges around the image. ➔ Display the full image on the screen and press the APA key. ➔ Adjust “shift” in the INPUT SETTING menu properly.
The picture flickers.	• “Dot Phase” in the INPUT SETTING menu has not been adjusted properly. ➔ Adjust “Dot Phase” in the INPUT SETTING menu properly.

Indicators

POWER SAVING	Lights up when the projector is in power saving mode.
TEMP/FAN	Lights up when temperature inside the projector becomes unusually high. Check to see if anything is blocking the ventilation holes.
	Flashes when the fan is broken. Consult with qualified Sony personnel.
LAMP/COVER	Lights up when the lamp has reached the end of its life or becomes a high temperature. Wait for 90 seconds to cool down the lamp and turn on the power again, or replace the lamp.
	Flashes when the lamp cover is not secured firmly. Attach the cover securely.
I /⏻ indicator	Lights in red when a AC power cord is plugged into a wall outlet. Once in standby mode, you can turn on the projector with the I /⏻ key.
	Lights in green when the power is turned on.
	Flashes in green while the cooling fan runs after the power is turned off with the I /⏻ key. During this time, you will not be able to turn on the projector.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, projection system
LCD panel Superhigh-aperture 0.62-inch SVGA panel, 1,440,000 pixels (480,000 pixels × 3)
Lens 1.2 times zoom lens (manual)
f 18.0 to 21.6 mm/F 2.2 to 2.4
Lamp VPL-CS7: 185 W UHP
VPL-ES2: 157 W UHP
Projection picture size
Range: 40 to 300 inches (diagonal measure)
Light output VPL-CS7: 1800 ANSI[1] lm
VPL-ES2: 1500 ANSI[1] lm
(When the Lamp Mode is set to "High")
Throwing distance (When placing on the floor)
When the SVGA signal is input:
40-inch: 1.1 to 1.4 m (3.6 to 4.6 feet)
60-inch: 1.7 to 2.1 m (5.6 to 6.9 feet)
80-inch: 2.3 to 2.8 m (7.5 to 9.2 feet)
100-inch: 2.9 to 3.5 m (9.5 to 11.5 feet)
120-inch: 3.5 to 4.2 m (11.5 to 13.8 feet)
150-inch: 4.4 to 5.3 m (14.4 to 17.4 feet)
200-inch: 5.9 to 7.0 m (19.4 to 28.9 feet)
300-inch: 8.8 to 10.6 m (23 to 34.8 feet)
There may be a slight difference between the actual value and the design value shown above.

Color system NTSC$_{3.58}$/PAL/SECAM/NTSC$_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60 system, switched automatically/manually
Acceptable computer signals[2]
fH: 19 to 72 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input signal resolution: XGA 1024 × 768 fV: 85 Hz)

Applicable video signals
15 kHz RGB/Component 50/60 Hz, Progressive Component 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i 720/60p, 720/50p, 540/60p), Composite video, Y/C video
Dimensions 295 × 78 × 238 mm (11 5/8 × 3 1/8 × 9 3/8 inches) (w/h/d) (without the projection parts)
Mass VPL-CS7: Approx. 2.9 kg (6 lb 6 oz)
VPL-ES2: Approx. 2.8 kg (6 lb 3 oz)
Power requirements
AC 100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption
VPL-CS7: Max. 250 W
VPL-ES2: Max. 220 W
(Standby mode: 4.6 W)
Supplied accessories
Remote Commander (1)
Lithium battery CR2025 (1)
HD D-sub 15 pin cable (2 m) (1) (1-791-992-21)
Soft case (1)
AC power cord (1)
Air filter (for replacement) (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)
Quick Reference Manual (1)
Security Label (1)
Design and specifications are subject to change without notice.

Optional accessories
Projector Lamp (for replacement)
LMP-E180 (for VPL-CS7 only)
LMP-E150 (for VPL-ES2 only)
Signal Cable SMF-402 (HD D-sub 15-pin (male) ↔ 3 × phono type (male))

1) ANSI lumen is a measuring method of American National Standard IT 7.228.
2) Set the resolution and the frequency of the signal of the connected computer within the range of acceptable preset signals of the projector. For details, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

A propos du Guide de référence rapide

Ce guide explique les raccordements et fonctions de base de cet appareil. Il fournit des explications sur le fonctionnement et donne des informations nécessaires à la maintenance.
Pour plus de détails sur le fonctionnement, reportez-vous au mode d’emploi se trouvant sur le CD-ROM fourni.
En ce qui concerne les précautions de sécurité, reportez-vous au manuel séparé « Règlements de sécurité ».

Utilisation des manuels du CD-ROM

Le CD-ROM fourni contient le mode d’emploi et le fichier ReadMe en japonais, anglais, français, allemand, italien, espagnol et chinois. Commencez par consulter le fichier ReadMe.

Préparatifs

Pour lire le mode d’emploi du CD-ROM, vous devez disposez du logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0 ou d’une version ultérieure. Si Adobe Acrobat Reader n’est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez le télécharger gratuitement à partir du site web de Adobe Systems.

Lecture du mode d’emploi

Le mode d’emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur et la lecture du CD-ROM démarre après quelques instants.
Sélectionnez le mode d’emploi que vous souhaitez lire.
Selon l’ordinateur, il est possible que la lecture ne démarre pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d’emploi de la façon suivante :

(Sous Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Cliquez sur l’icône du CD-ROM avec le bouton droit de la souris et sélectionnez « Explorateur ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d’emploi que vous souhaitez lire.

(Sous Macintosh)

① Double-cliquez sur l’icône CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d’emploi que vous souhaitez lire.

Remarque

Si vous ne pouvez pas ouvrir le fichier index.htm, double-cliquez sur le mode d’emploi que vous souhaitez lire parmi ceux figurant dans le dossier Operating_Instructions.

A propos des marques commerciales

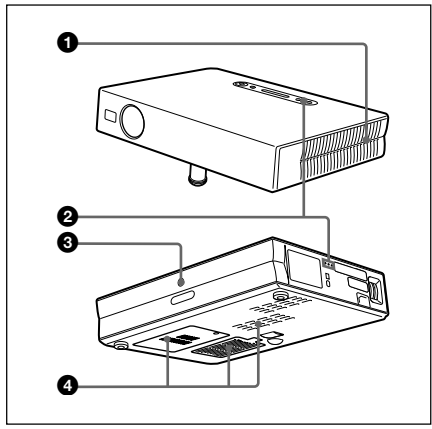
• Windows est une marque déposée de Microsoft Corporation aux Etats Unis et/ ou dans d’autres pays.
• Macintosh est une marque déposée de Apple Computer, Inc. aux États-Unis et/ ou dans d’autres pays.
• Adobe et Acrobat Reader sont des marques déposées de Adobe Systems Incorporated aux États-Unis et/ou dans d’autres pays.

Table des matières

Remarques sur l'utilisation

Remarque sur les orifices de ventilation

N'obstruez pas les orifices de ventilation (sortie d'air et prise d'air). Sinon, vous risquez de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner un incendie ou endommager l'appareil.

Vérifiez l'emplacement des orifices de ventilation dans les illustrations suivantes. Pour obtenir plus de détails sur les précautions à suivre, lisez attentivement les « Règlements de sécurité » séparées.

1. Orifices de ventilation (sortie d'air)
2. Indicateurs
3. Capteur de télécommande
4. Orifices de ventilation (prise d'air)

FR

Remarque sur le cordon d'alimentation

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à l'alimentation secteur locale.

	États-Unis, Canada		Europe continentale		Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
Type de connecteur	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Type de cordon	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Tension et intensité nominales	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Approbation de sécurité	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Longueur de cordon (max.)	4,5 m		—			

1) Utilisez une fiche appropriée ayant des caractéristiques nominales conformes à la réglementation locale.

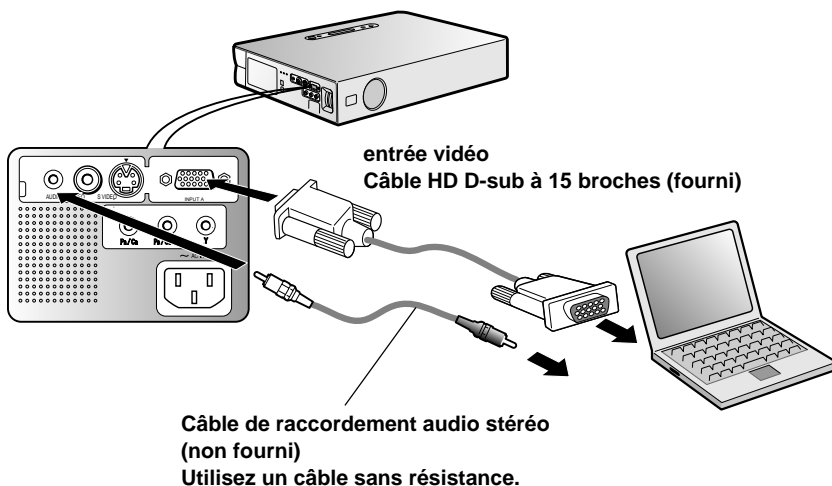
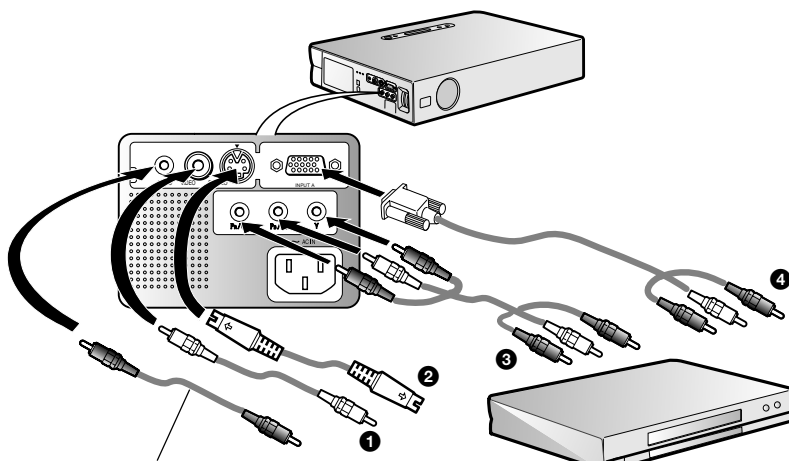
Projection

Raccordement du projecteur

Lors du raccordement du projecteur :

• Mettez tous les appareils hors tension avant tout raccordement.
• Utilisez les câbles appropriés pour chaque raccordement.
• Branchez correctement les fiches des câbles. Lorsque vous débranchez un câble, veillez à le tenir par la fiche et non par le câble lui même.

Reportez-vous également au mode d’emploi de l’appareil à raccorder.

(Le modèle-VPL ES2 est représenté dans les illustrations suivantes.)

Raccordement à un magnétoscope/Lecteur DVD

Câble de raccordement audio stéréo (non fourni)
Utilisez un câble sans résistance.

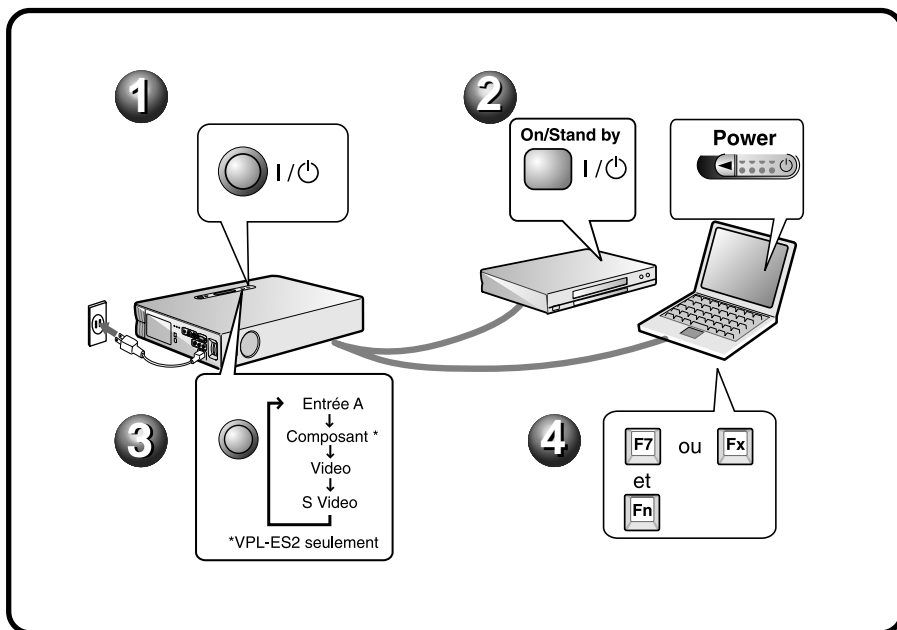
Pour les connexions utilisant des signaux vidéo, vous avez le choix entre les quatre options de raccordement suivantes :

❶ Câble vidéo composite (fiche Cinch)* (non fourni)
❷ Câble S vidéo (Miniconnecteur DIN à 4 broches)* (non fourni)
❸ Câble composant (3 × fiche Cinch)* (VPL-ES2 uniquement) (non fourni) (Utilisez un câble coaxial de 75 Ω)
❹ Câble composant (D-sub à 15 broches ⟷ 3 × fiche Cinch)* (non fourni)

Si vous utilisez le raccordement ❹, sélectionnez le signal d’entrée avec « Sél sign entr A » dans le menu RÉGLAGE. Pour plus de détails, reportez vous au mode d’emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Projection

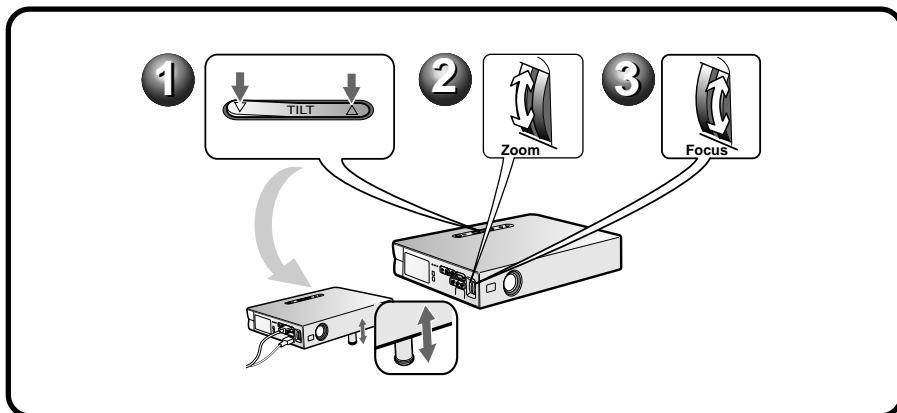
Avant de procéder au raccordement de l'équipement, branchez le cordon d'alimentation à une prise murale.

❶ Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).
❷ Mettez l'équipement raccordé au projecteur sous tension.
❸ Appuyez sur la touche INPUT pour sélectionner la source d'entrée.
❹ Lorsque l'ordinateur est raccordé, réglez-le de sorte qu'il transmette le signal au moniteur externe uniquement.

Réglage du projecteur

❶ Permet de régler la position de l’image.

❷ Réglez la taille de l’image.

❸ Réglez la mise au point.

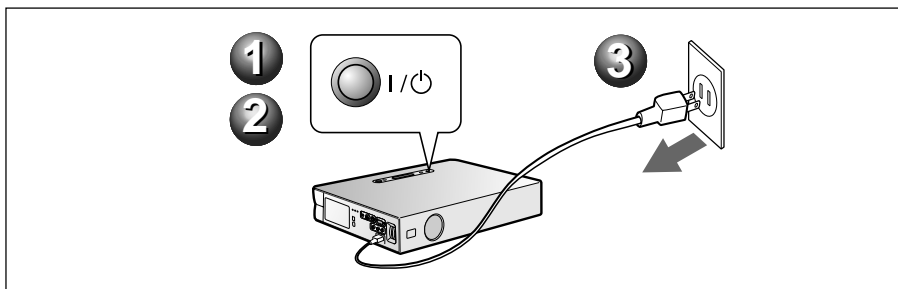
Le menu PARAMÉTRAGE DE L’IMAGE du projecteur permet de sélectionner le mode d’image et le menu RÉGLAGE DE L’ENTRÉE le format approprié de l’image. Pour plus de détails, reportez vous au mode d’emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Mise hors tension

❶ Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).

❷ Lorsqu’un message apparaît, appuyez de nouveau sur la touche I/⏻ (marche/veille).

❸ Attendez que le ventilateur s’arrête et que l’indicateur ON/STANDBY s’allume en rouge avant de débrancher le cordon d’alimentation secteur de la prise murale.

Remarques

- Ne débranchez pas le cordon d’alimentation alors que le ventilateur tourne encore. Vous risquez d’endommager l’appareil. (VPL-ES2 uniquement)
- Le circuit interne de la fonction Off & Go peut continuer à faire tourner le ventilateur pendant quelques instants après que vous appuyez sur la touche I/⏻ pour mettre le projecteur hors tension et que l’indicateur ON/STANDBY devient rouge. (VPL-CS7 seulement)

Remplacement de la lampe

Remarques

- Utilisez une lampe pour projecteur **LMP-E180 (VPL-CS7) / LMP-E150 (VPL-ES2)** comme lampe de rechange. L'utilisation d'une lampe autre que la LMP-E180 ou LMP-E150 peut endommager le projecteur.
- Veillez à mettre le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise secteur avant de remplacer la lampe.

Attention

La lampe est très chaude lorsque vous éteignez le projecteur avec la touche I/⏻. **Elle peut vous brûler si vous la touchez. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.**

Remarques

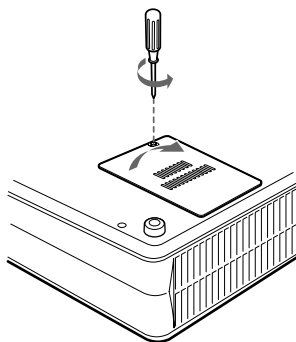
- **Si la lampe se casse, consultez le centre de service client.**
- Retirez la lampe en la tenant par la poignée. Ne touchez pas la lampe car vous pourriez vous brûler ou vous blesser.
- Lorsque vous retirez la lampe, veillez à ce qu'elle reste horizontale et tirez-la droit vers le haut. N'inclinez pas la lampe. Si la lampe se cassait alors que vous la retirez en l'inclinant, les morceaux de verre pourraient se disperser et vous blesser.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation de la prise secteur.

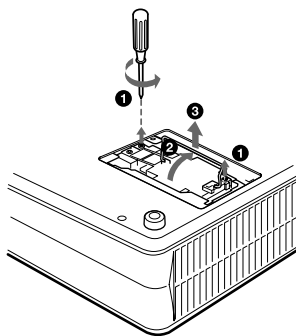
2 Placez une feuille de protection (textile) sous le projecteur. Retournez le projecteur à l'envers de façon que sa face inférieure soit visible.

Remarque

Assurez-vous que le projecteur est stable après l'avoir retourné.

3 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant la vis avec un tournevis cruciforme.

Remarque

Par mesure de sécurité, ne desserrez pas d'autres vis.

4 Desserrez les deux vis du bloc de lampe à l'aide du tournevis cruciforme (❶). Rabattez la poignée (❷), puis retirez le bloc de lampe en le prenant par la poignée (❸).

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place. Serrez les deux vis. Rabattez la poignée.

Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

6 Refermez le couvercle de la lampe et serrez les vis.

7 Remettez le projecteur à l'endroit.

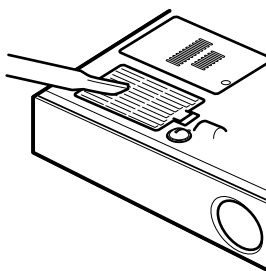
8 Branchez le cordon d'alimentation.
L'indicateur ON/STANDBY autour de la touche I/⏻ s'allume en rouge.

9 Appuyez sur chacune des touches suivantes de la télécommande dans l'ordre indiqué pendant moins de cinq secondes : RESET, ◀, ▶, ENTER.

Remarque

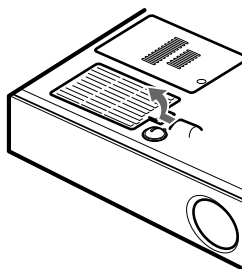
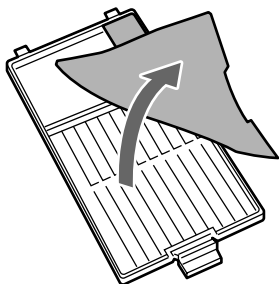
N'introduisez pas les doigts dans le logement de lampe et veillez à ce qu'aucun liquide ou objet n'y pénètre **pour éviter tout risque de choc électrique ou d'incendie**.

Nettoyage du filtre à air

Le filtre à air doit être nettoyé toutes les 500 heures.
Enlevez la poussière de l'extérieur des orifices de ventilation au moyen d'un aspirateur lorsque le message « Nettoyez le filtre » apparaît sur l'affichage.
La fréquence de remplacement approximative est de 500 heures. Cette fréquence dépend de l'environnement et de la manière dont le projecteur est utilisé.

Quand il devient difficile d'enlever la poussière du filtre avec un aspirateur, retirez le filtre à air et lavez-le.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Placez une feuille de protection (textile) sous le projecteur et retournez le projecteur à l'envers.

3 Retirez le couvercle du filtre à air.

4 Retirez le filtre à air.

5 Lavez le filtre à air au moyen d'une solution détergente neutre et faites-le sécher dans un endroit à l'ombre.

6 Réinstallez le filtre et remettez le couvercle en place.

Remarques

- **Si vous ne nettoyez pas le filtre à air, la poussière risque de s'y accumuler et de l'obstruer. La température peut alors augmenter à l'intérieur du projecteur et causer un dysfonctionnement ou un incendie**.
- Si vous ne parvenez pas à enlever la poussière, remplacez le filtre à air par le filtre neuf fourni.
- Remettez le couvercle du filtre à air correctement en place. La poussière risquerait autrement de s'accumuler à l'intérieur du projecteur et de provoquer un dysfonctionnement.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et remédiez au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de détails sur les symptômes, reportez vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Messages

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le projecteur a été mis hors et sous tension à brefs intervalles à l'aide de la touche I/⏻. ➔ Attendez environ 90 secondes avant de mettre le projecteur sous tension. • Le couvercle de la lampe est mal fixé. ➔ Fermez correctement le couvercle de la lampe.
Le dispositif de réglage d'inclinaison motorisé et le protecteur d'objectif ne se ferment pas.	• Le cordon d'alimentation a été débranché alors que le projecteur était sous tension. ➔ Rebranchez la fiche du cordon d'alimentation à la prise secteur et mettez le projecteur hors tension.
Pas d'image.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont mal effectués. ➔ Assurez-vous que les raccordements ont été correctement effectués. • Les raccordements n'ont pas été effectués conformément aux instructions. ➔ Vérifiez les instructions. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez correctement la source d'entrée à l'aide de la touche INPUT. • L'ordinateur n'est pas paramétré pour la sortie de signal vers un moniteur externe ou il est paramétré pour la sortie de signal à la fois vers un moniteur externe et vers son propre écran LCD. ➔ Paramétrez l'ordinateur pour la sortie de signal vers un moniteur externe **uniquement**. ➔ Pour certains types d'ordinateurs (portables ou LCD tout-en-un par exemple), vous devrez peut-être commuter l'ordinateur pour qu'il envoie le signal au projecteur en appuyant sur certaines touches ou en changeant certains paramètres de l'ordinateur. Pour plus d'informations, consultez la documentation de l'ordinateur.
Bruit sur l'image.	• Du bruit peut apparaître sur l'arrière-plan de l'image pour certaines combinaisons de nombres de points du signal reçu depuis le connecteur et du nombres de pixels du panneau LCD. ➔ Changez la configuration du bureau de l'ordinateur utilisé.
L'image via le connecteur INPUT A présente des couleurs anormales.	• Le paramétrage de « Sél sign entr A » du menu RÉGLAGE est incorrect. ➔ Sélectionnez correctement l'option « Ordinateur », « Video GBR » ou « Composant » correspondant au signal d'entrée.

Symptôme	**Cause et remède**
L'image n'est pas nette.	• La mise au point de l'image est incorrecte. ➔ Réglez la mise au point de l'image. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.
L'image dépasse l'écran.	• Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. ➔ Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. ➔ Définissez correctement « Déplacement » dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.
L'image tremblote.	• Le paramètre « Phase des points » n'est pas correctement réglé dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE. ➔ Réglez correctement « Phase des points » dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.

Indicateurs

POWER SAVING	S'allume lorsque le projecteur est en mode d'économie d'énergie.
TEMP (température)/FAN	S'allume lorsque la température à l'intérieur du projecteur devient anormalement élevée. Vérifiez si les orifices de ventilation sont obstrués.
	Clignote lorsque le ventilateur est défectueux. Consultez le service après-vente Sony.
LAMP/COVER	S'allume lorsque la lampe atteint la fin de sa durée de vie ou que sa température est élevée. Attendez 90 secondes pour que la lampe refroidisse et remettez l'appareil sous tension ou remplacez la lampe.
	Clignote lorsque le couvercle de la lampe n'est pas correctement fermé. Fixez correctement le couvercle.
Indicateur I/⏻	S'allume en rouge lorsque le cordon d'alimentation secteur est branché à une prise murale. Lorsque le projecteur est en veille, vous pouvez le mettre sous tension à l'aide de la touche I/⏻.
	S'allume en vert lorsque le projecteur est sous tension.
	Clignote en vert tant que le ventilateur de refroidissement tourne après la mise hors tension à l'aide de la touche I/⏻. Vous ne pourrez pas mettre le projecteur sous tension pendant ce temps.

Spécifications

Système de projection
Système de projection à 3 panneaux LCD, 1 objectif
Panneau LCD
Panneau SVGA à très grande ouverture de 0,62 pouce, 1 440 000 pixels (480 000 pixels × 3)
Objectif Zoom 1,2 fois (manuel)
f 18,0 à 21,6 mm/F 2,2 à 2,4
Lampe VPL-CS7 : 185 W UHP
VPL-ES2 : 157 W UHP
Dimensions de l'image projetée
Plage : 40 à 300 pouces (en diagonale)
Intensité lumineuse
VPL-CS7 : 1 800 lumen ANSI[1]
VPL-ES2 : 1 500 lumen ANSI[1]
(Lorsque Mode de lampe est sur « Haut »)
Distance de projection (Lors d'une installation au plancher)
Lors de l'entrée d'un signal SVGA:
40 pouces : 1,1 à 1,4 m (3.6 à 4,6 pieds)
60 pouces : 1,7 à 2,1 m (5.6 à 6,9 pieds)
80 pouces : 2,3 à 2,8 m (7,5 à 9,2 pieds)
100 pouces : 2,9 à 3,5 m (9,5 à 11,5 pieds)
120 pouces : 3,5 à 4,2 m (11,5 à 13,8 pieds)
150 pouces : 4,4 à 5,3 m (14,4 à 17,4 pieds)
200 pouces : 5,9 à 7,0 m (19,4 à 28,9 pieds)
300 pouces : 8,8 à 10,6 m (23 à 34,8 pieds)
Il se peut qu'il y ait une légère différence entre la valeur réelle et la valeur théorique indiquée ci-dessus.
Standard couleur
$NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/$NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle

Signaux d'ordinateur compatibles[2]
fH : 19 à 72 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée : XGA 1024 × 768 fV : 85 Hz)
Signaux vidéo utilisables
RVB 15 kHz/composantes
50/60 Hz, composantes progressives 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i 720/60p, 720/50p, 540/60p), vidéo composite , vidéo Y/C
Dmensions 295 × 78 × 238 mm (11 5/8 × 3 1/8 × 9 3/8 pouces) (l/h/p) (sans les pièces de projection)
Poids VPL-CS7 : 2,9 kg environ (6 li. 6 onces)
VPL-ES2 : 2,8 kg environ (6 li. 3 onces)
Alimentation
100 à 240 V CA, 50/60 Hz
Consommation électrique
VPL-CS7 : 250 W max.
VPL-ES2 : 220 W max.
(Mode de veille : 4,6 W)
Accessoires fournis
Télécommande (1)
Pile au lithium CR2025 (1)
Câble HD D-sub à 15 broches (2 m) (1) (1-791-992-21)
Sacoche souple (1)
Cordon d'alimentation (1)
Filtre à air (pour remplacement) (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)
Guide de référence rapide (1)
Étiquette de sécurité (1)
La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Accessoires en option
Lampe pour projecteur (pour remplacement)
LMP-E180 (VPL-CS7 seulement)
LMP-E150 (VPL-ES2 seulement)
Câble de signal
SMF-402 (HD D-sub à 15 broches (mâle) ⟷ 3 × type Cinch (mâle))

1) Lumen ANSI est une méthode de mesure de l'American National Standard IT 7.228.
2) Spécifiez la résolution et la fréquence du signal de l'ordinateur utilisé dans les limites des signaux préprogrammés admissibles du projecteur. Pour plus de détails, reportez vous au mode d'emploi se trouvant sur le CD-ROM.

Manual de referencia rápida

Este manual de referencia rápida explica las conexiones y operaciones básicas de esta unidad, y ofrece indicaciones sobre las operaciones e información necesarias para el mantenimiento.
Para obtener más información sobre las operaciones, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.
Para obtener más información sobre las precauciones de seguridad, consulte "Normativa de seguridad".

Uso de los manuales en CD-ROM

El CD-ROM suministrado incluye el manual de instrucciones y un archivo ReadMe en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español y chino. Primero, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones incluido en el CD-ROM, debe tener instalado Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no dispone de este programa, descargue gratis el software Acrobat Reader de la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones se incluye en el CD-ROM suministrado. Inserte el CD-ROM suministrado en la unidad de CD del ordenador y al cabo de poco se iniciará automáticamente. Seleccione el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que en algunos ordenadores el CD-ROM no se inicie automáticamente. En este caso, abra el manual de instrucciones como se indica a continuación:

(Si es Windows)

① Abra "Mi PC".
② Haga clic con el botón derecho en el icono del CD-ROM y seleccione "Explorar".
③ Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(Si es Macintosh)

① Haga doble clic en el icono del CD-ROM del escritorio.
② Haga doble clic en el archivo "index.htm" y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Nota

Si no puede abrir el archivo "index.htm", haga doble clic en el manual de instrucciones que desea leer de todos los que aparecen en la carpeta "Operating_Instructions" (Manual de instrucciones).

Sobre las marcas comerciales

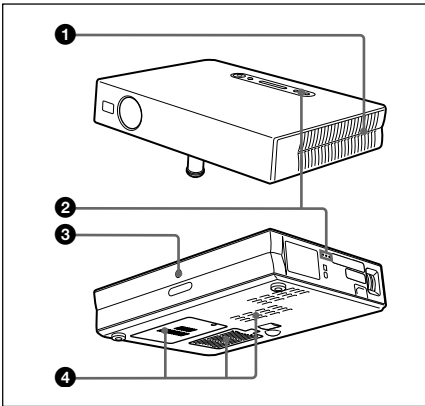
- Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y en otros países.
- Macintosh es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc. en los Estados Unidos y en otros países.
- Adobe y Acrobat Reader es una marca comercial registrada de Adobe Systems Incorporated en los Estados Unidos y en otros países.

Tabla de contenido

Notas sobre el uso

Nota sobre los orificios de ventilación

No bloquee los orificios de ventilación (entrada y salida de aire). Si están bloqueados, la unidad puede calentarse internamente y provocar un incendio o daños en ella misma.
Compruebe el estado de los orificios de ventilación como aparecen en las ilustraciones siguientes.

Para obtener más información sobre otras precauciones que se deben tener en cuenta, consulte atentamente el apartado "Normativa de seguridad".

1 Orificios de ventilación (escape)
2 Indicadores
3 Detector de control remoto
4 Orificios de ventilación (aspiración)

ES

Nota sobre el cable de alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

	Estados Unidos, Canadá		**Europa continental**		**Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda**	**Japón**
Tipo de enchufe	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	—[1)]	YP332
Tipo de conexión	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Tipo de cable	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Corriente y tensión nominal	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Longitud del cable (máx.)	4,5 m		—			

1) Utilice un enchufe de valor nominal adecuado, que se ajuste a las normas locales.

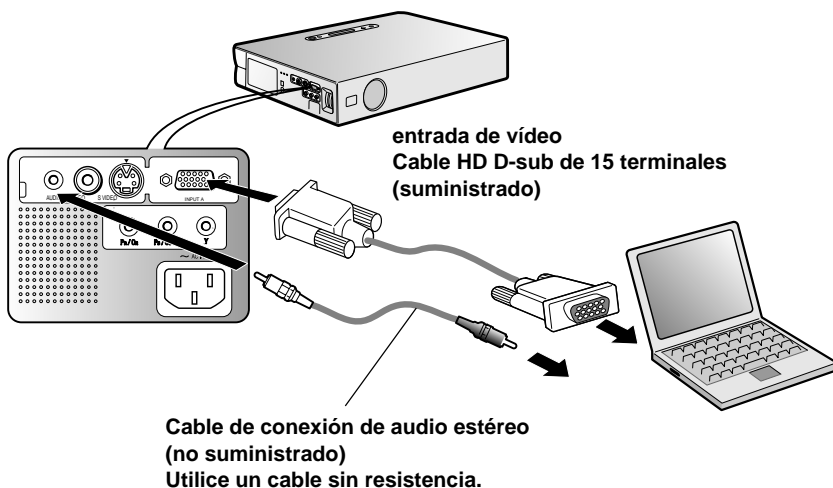
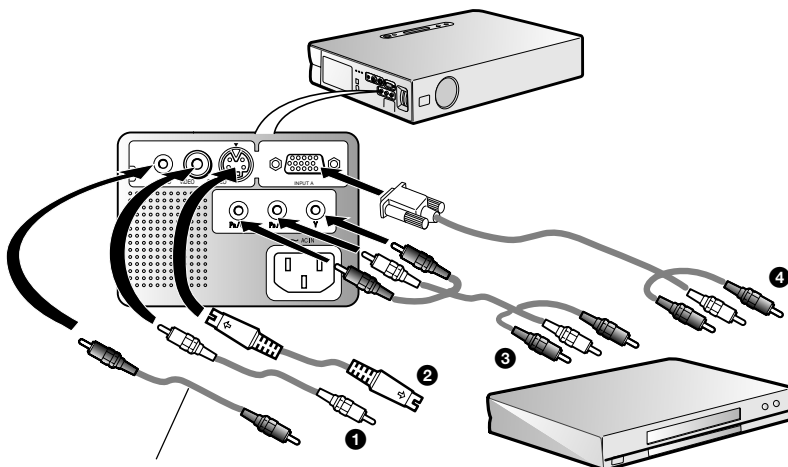
Proyección

Conexión del proyector

Cuando conecte el proyector, asegúrese de lo siguiente:

- Apague todos los equipos antes de realizar cualquier conexión.
- Utilice los cables apropiados para cada conexión.
- Introduzca los enchufes de los cables correctamente. Cuando desconecte un cable, asegúrese de tirar del enchufe, no del propio cable.

Asimismo consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.

(El VPL-ES2 se utiliza en las ilustraciones siguientes).

Conexión a una videograbadora/reproductor de DVD

Cable de conexión de audio estéreo (no suministrado)
Utilice un cable sin resistencia.

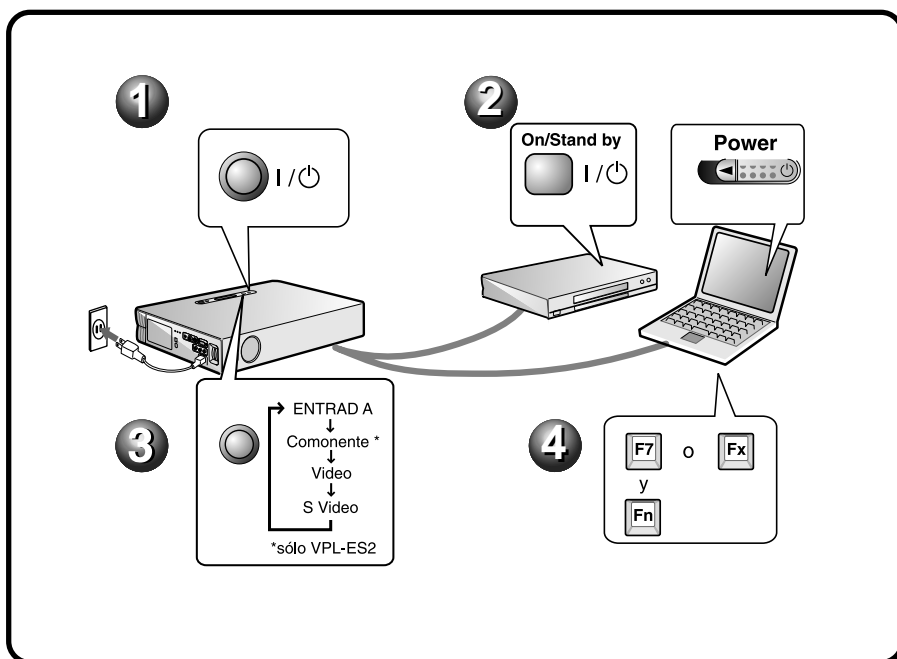
Para realizar conexiones de señal de vídeo, puede utilizar las cuatro opciones de conexión siguientes:

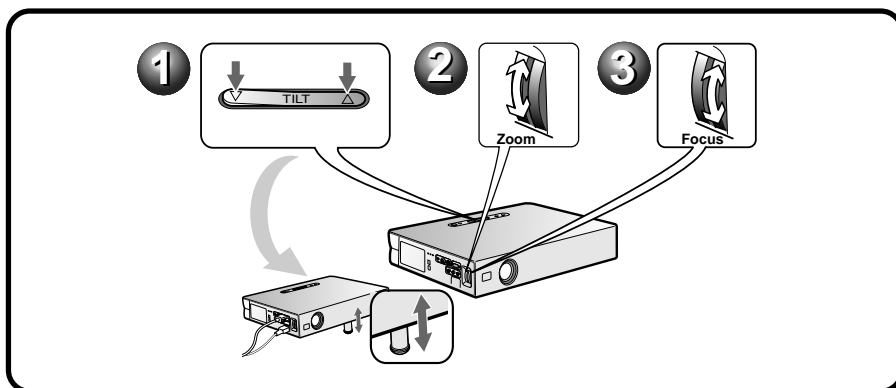
❶ Cable de vídeo compuesto (clavija fonográfica)* (no suministrado)
❷ Cable S Video (mini DIN de 4 terminales)* (no suministrado)
❸ Cable de vídeo componente (3 × clavija fonográfica)* (sólo VPL-ES2) (no suministrado) (Utilice un cable coaxial de 75 Ω)
❹ Cable de vídeo componente (3 × clavija fonográfica ←→ D-Sub de 15 terminales)* (no suministrado)

Si se ha realizado la conexión ❹, seleccione la señal de entrada con “Sel. señ. ent. A” del menú AJUSTE. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM.

Proyección

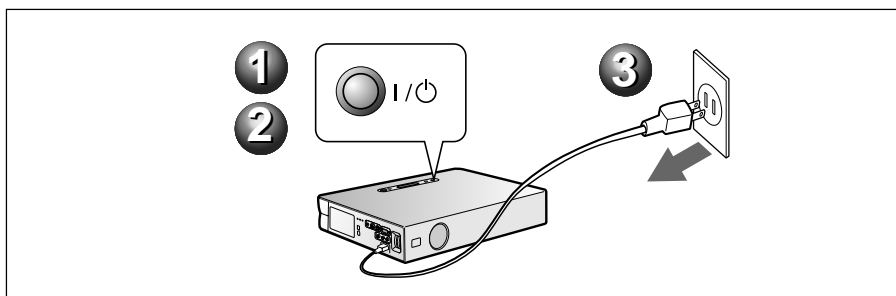
Antes de conectar los equipos, enchufe el cable de alimentación de CA a una toma mural.

1. Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).
2. Encienda el equipo conectado al proyector.
3. Pulse la tecla INPUT para seleccionar la fuente de entrada.
4. Cuando el ordenador está conectado, debe ajustarse para que emita la señal sólo al monitor externo.

Ajuste del proyector

1. Ajusta la posición de la imagen.
2. Ajustar el tamaño de la imagen.
3. Ajustar el enfoque.
   El proyector está equipado con el menú CONFIGURACIÓN DE IMAGEN para seleccionar el modo de imagen y con el menú AJUSTE DE ENTRADA para seleccionar el formato de imagen adecuado. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM.

Apagado de la alimentación

1. Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).
2. Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻ (encendido/espera).
3. Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y el indicador ON/STANDBY se ilumine en rojo.

Notas

- No desenchufe el cable de alimentación de CA mientras el ventilador esté en funcionamiento. Esto podría provocar daños en la unidad. (sólo VPL-ES2)
- Los circuitos internos de la función Off & Go pueden hacer que el ventilador continúe funcionando durante un corto periodo de tiempo, incluso después de pulsar la tecla I/⏻ para apagar la alimentación y de que el indicador ON/STANDBY cambie a rojo. (Sólo VPL-CS7)

Sustitución de la lámpara

Notas

- Sustitúyala por una lámpara de proyector **LMP-E180 (VPL-CS7) / LMP-E150 (VPL-ES2)**. El uso de lámparas diferentes de la LMP-E180 o la LMP-E150 puede dañar el proyector.
- Asegúrese de apagar el proyector y desconecte el cable de alimentación de la toma de ca antes de sustituir la lámpara.

Precaución

La temperatura de la lámpara será alta después de apagar el proyector con la tecla I/⏻. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora hasta que se enfríe.**

Notas

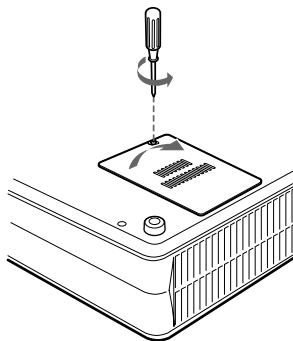
- **Si la lámpara se rompe, consulte con el centro de servicio al cliente.**
- Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el asa. Si toca la lámpara, puede quemarse o herirse.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y tire hacia arriba. No incline la lámpara. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras se encuentra inclinada y la lámpara se rompe, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación CA de la toma de CA.

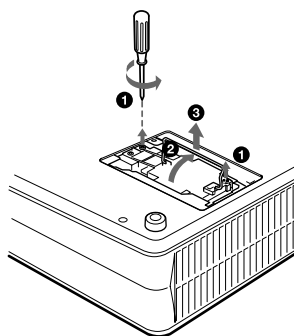
2 Coloque una hoja (paño) de protección debajo del proyector. Dé la vuelta al proyector de forma que vea la parte inferior.

Nota

Asegúrese de que el proyector se encuentra en una posición estable después de haberle dado la vuelta.

3 Afloje un tornillo con el destornillador cruciforme para abrir la cubierta de la lámpara.

Nota

Para mayor seguridad, no afloje más tornillos.

4 Afloje los dos tornillos de la lámpara con el destornillador Phillips (❶). Despliegue el asa (❷) y, a continuación, tire de ella para extraer la unidad de la lámpara (❸).

5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio. Apriete los dos tornillos. Pliegue el asa .

Notas

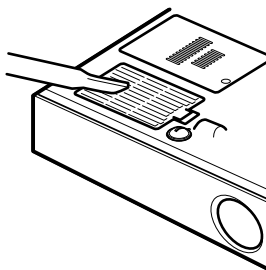
- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara.
- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

6 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete los tornillos.

7 Vuelva a darle la vuelta al proyector.

8 Conecte el cable de alimentación. El indicador ON/STANDBY alrededor de la tecla I/⏻ se ilumina en rojo.

9 Pulse las siguientes teclas del mando a distancia en el orden indicado durante menos de cinco segundos cada una: RESET, ◀, ▶, ENTER.

Nota

Con el fin de evitar descargas eléctricas o incendios, no introduzca las manos en el compartimento de sustitución de la lámpara, ni permita que se introduzcan líquidos ni objetos.

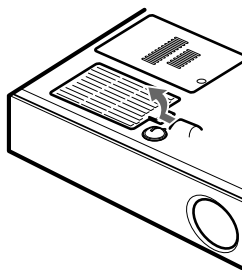
Limpieza del filtro de aire

El filtro de aire debe limpiarse cada 500 horas.
Cuando aparezca en la pantalla el mensaje “Por favor limpie el filtro”, quite el polvo del exterior de los orificios de ventilación con un aspirador.
La cifra de 500 horas es aproximada. Este valor varía en función del entorno y de cómo se utilice el proyector.

Si resulta difícil retirar el polvo del filtro con un aspirador, desmonte el filtro de aire y lávelo.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Coloque una hoja (paño) de protección debajo del proyector y dé la vuelta al proyector.

3 Extraiga la cubierta del filtro de aire.

4 Extraiga el filtro de aire.

5 Lave el filtro de aire con una solución detergente suave y déjelo secar a la sombra.

6 Fije el filtro de aire y vuelva a colocar la cubierta.

Notas

- **No descuide la limpieza del filtro de aire, de lo contrario el polvo podría acumularse hasta llegar a obstruirlo. Ello podría provocar un aumento de la temperatura en el interior de la unidad y originar un incendio, o ser la causa de un mal funcionamiento.**
- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por el nuevo suministrado.
- No olvide sujetar firmemente la cubierta del filtro de aire. De lo contrario, el polvo se acumulará en el interior del proyector, lo que puede provocar averías.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener más información sobre estos problemas, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM suministrado.

Mensajes

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• La alimentación se ha desactivado y activado de nuevo con la tecla I/⏻ en un corto intervalo. → Espere unos 90 segundos antes de activar la alimentación . • La cubierta de la lámpara no está fijada. → Cierre firmemente la cubierta de la lámpara.
El ajustador eléctrico de inclinación y la protección del objetivo no se cierran.	• El cable de alimentación de CA está desenchufado con la alimentación del proyector activada. → Conecte de nuevo el enchufe del cable de alimentación a la toma de CA y, a continuación, desactive la alimentación del proyector.
Sin imagen.	• El cable está desconectado o las conexiones son incorrectas. → Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • Las conexiones se han realizado de forma incorrecta. → Compruebe los procedimientos de conexión adecuados. • La selección de entrada es incorrecta. → Seleccione correctamente la fuente de entrada mediante la tecla INPUT. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo, o está ajustada tanto para un monitor externo como para un monitor LCD de ordenador. → Ajuste el ordenador para que envíe la señal **solamente** a un monitor externo. → Dependiendo del tipo de ordenador, por ejemplo un portátil o un equipo LCD de tipo "todo en uno", es posible que deba pulsar determinadas teclas o cambiar la configuración para conmutar la salida del ordenador al proyector. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones suministrado con el ordenador.
La imagen aparece con ruido.	• Puede aparecer ruido de fondo en función de la combinación de los números de entrada de puntos del conector y de los números de píxeles del panel LCD. → Cambie el patrón del escritorio del ordenador conectado.
El color de la imagen del conector INPUT A es extraño.	• El ajuste de "Sel. seň. ent. A" del menú AJUSTE es incorrecto. → Seleccione la opción correcta, "Ordenador", "Vídeo GBR" o "Componente", de acuerdo con la señal de entrada.

Síntoma	**Causa y solución**
La imagen no es nítida.	• La imagen está desenfocada. → Ajuste el enfoque. • Se ha condensado humedad en el objetivo. → Deje el proyector encendido durante unas dos horas.
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	• Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. → Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. → Ajuste correctamente “Desplazamiento” en el menú AJUSTE DE ENTRADA.
La imagen parpadea.	• “Fase Punto”, en el menú AJUSTE DE ENTRADA, no se ha ajustado correctamente. → Ajuste correctamente “Fase Punto” en el menú AJUSTE DE ENTRADA.

Indicadores

POWER SAVING	Se ilumina cuando el proyector se encuentra en el modo de ahorro de energía.
TEMP (Temperatura)/ FAN (Ventilador)	Se ilumina cuando la temperatura del interior del proyector es anormalmente alta. Compruebe si hay algún objeto que bloquee los orificios de ventilación.
	Parpadea cuando el ventilador está averiado. Consulte con personal especializado de Sony.
LAMP/COVER	Se ilumina cuando la lámpara llega al final de su vida útil o cuando alcanza una temperatura alta. Espere 90 segundos para que se enfríe la lámpara y encienda de nuevo la unidad o sustituya la lámpara.
	Parpadea cuando la cubierta de la lámpara no está fijada correctamente. Coloque la cubierta con firmeza.
Indicador I /⏻.	Se ilumina en rojo al enchufar el cable de alimentación de CA en una toma mural. Una vez en el modo de espera, podrá encender el proyector con la tecla I/⏻.
	Se ilumina en verde cuando la alimentación está activada.
	Parpadea en verde mientras funciona el ventilador de refrigeración, después de desactivar la alimentación con la tecla I/⏻. Durante este tiempo no podrá apagar el proyector.

Especificaciones

Sistema de proyección
3 paneles LCD, 1 objetivo, sistema de proyección
Panel LCD panel SVGA de 0,62 pulgadas de muy alta apertura, 1.440.000 píxeles (480.000 píxeles × 3)
Objetivo Objetivo zoom de 1,2 aumentos (manual)
f 18,0 a 21,6 mm/F 2,2 a 2,4
Lámpara VPL-CS7: 185 W UHP
VPL-ES2: 157 W UHP
Tamaño de imagen de proyección
Margen: 40 a 300 pulgadas (medida diagonal)
Salida de luz VPL-CS7: lúmenes ANSI[1] 1800 lm
VPL-ES2: lúmenes ANSI[1] 1500 lm
(cuando el Modo de Lámpara está establecido en “Alto”)
Distancia de proyección (si se coloca en el suelo)
Cuando se introduce la señal SVGA
40 pulgadas: 1,1 a 1,4 m (3,6 a 4,6 pies)
60 pulgadas: 1,7 a 2,1 m (5,6 a 6,9 pies)
80 pulgadas: 2,3 a 2,8 m (7,5 a 9,2 pies)
100 pulgadas: 2,9 a 3,5 m (9,5 a 11,5 pies)
120 pulgadas: 3,5 a 4,2 m (11,5 a 13,8 pies)
150 pulgadas: 4,4 a 5,3 m (14,4 a 17,4 pies)
200 pulgadas: 5,9 a 7,0 m (19,4 a 28,9 pies)
300 pulgadas: 8,8 a 10,6 m (23 a 34,8 pies)

Es posible que exista una pequeña diferencia entre el valor real y el valor de diseño antes mostrado.

Sistema de color Sistema $NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/$NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60, cambio automático/manual
Señales de ordenador que admite[2]
fH: 19 to 72 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: XGA 1024 × 768 fV: 85 Hz)
Señales de vídeo aplicables
15 kHz RVA/Componente 50/60 Hz, Componente progresivo 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i 720/60p, 720/50p, 540/60p), Vídeo compuesto, Vídeo Y/C
Dimensiones
295 × 78 × 238 mm (11 5/8 × 3 1/8 × 9 3/8 pulgadas) (ancho/alto/prof.) (sin las partes salientes)
Masa VPL-CS7: Aprox. 2,9 kg (6 lb 6oz)
VPL-ES2: Aprox. 2,8 kg (6 lb 3 oz)
Requisitos de alimentación
CA 100 a 240 V, 50/60 Hz
Consumo de energía
VPL-CS7: Máx. 250 W
VPL-ES2: Máx. 220 W
(Modo de espera: 4.6 W)
Accesorios que se suministran
Mando a distancia (1)
Batería de litio CR2025 (1)
Cable HD D-sub de 15 terminales (2 m) (1) (1-791-992-21)
Maleta flexible (1)
Cable de alimentación CA (1)
Filtro de aire (de repuesto) (1)
Instrucciones de funcionamiento (CD-ROM) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Accesorios opcionales
Lámpara de proyector (de repuesto)
LMP-E180 (sólo para VPL-CS7)
LMP-E150 (sólo para VPL-ES2)
Cable de señales
SMF-402 (HD D-sub de 15 terminales (macho) ⟷ 3 × tipo fonográfico (macho))

1) Lumen ANSI es un método de medida de American National Standard IT 7.228.
2) Ajuste la resolución y la frecuencia de la señal del ordenador conectado dentro del margen de señales predefinidas que admite el proyector. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones que se incluye en el CD-ROM.

Hinweise zur Kurzreferenz

In dieser Kurzreferenz werden das Anschließen und die Grundfunktionen dieses Geräts erläutert. Außerdem erhalten Sie Hinweise zum Betrieb sowie die nötigen Informationen zur Wartung.
Einzelheiten zum Betrieb und den Funktionen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der mitgelieferten CD-ROM.
Informationen zu Sicherheitsmaßnahmen sind in den separaten Sicherheitsbestimmungen enthalten.

Die Anleitungen auf CD-ROM

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung und ReadMe-Datei in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch und Chinesisch. Lesen Sie bitte zuerst die ReadMe-Datei.

Vorbereitungen

Zum Aufrufen der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM ist Adobe Acrobat Reader 5.0 oder höher erforderlich. Wenn der Adobe Acrobat Reader auf Ihrem Computer nicht installiert ist, können Sie die Acrobat Reader-Software kostenlos vom URL von Adobe Systems herunterladen.

So rufen Sie die Bedienungsanleitung auf

Die Bedienungsanleitung ist auf der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk des Computers ein. Die CD-ROM startet nach einer kurzen Weile automatisch. Wählen Sie die Bedienungsanleitung aus, die Sie lesen möchten.
Bei einigen Computern startet die CD-ROM möglicherweise nicht automatisch. Öffnen Sie die Datei mit der Bedienungsanleitung in diesem Fall wie im Folgenden erläutert:

(Windows-Computer)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.
② Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf das CD-ROM-Symbol und wählen Sie „Explorer“.
③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, um die Bedienungsanleitung auszuwählen, die Sie lesen möchten.

(Macintosh-Computer)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Schreibtisch.
② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, um die Bedienungsanleitung auszuwählen, die Sie lesen möchten.

Hinweis

Wenn Sie die Datei „index.htm“ nicht öffnen können, doppelklicken Sie im Ordner „Operating_Instructions“ auf die Bedienungsanleitung, die Sie lesen möchten.

Hinweise zu den Warenzeichen

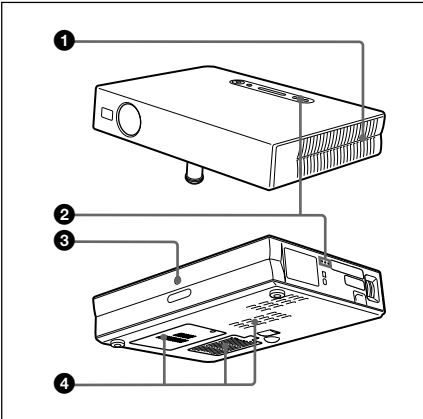
- Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
- Macintosh ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc., in den USA und/oder anderen Ländern.
- Adobe und Acrobat Reader sind eingetragene Warenzeichen der Adobe Systems Incorporated in den USA und/ oder anderen Ländern.

Inhaltsverzeichnis

Hinweise zur Verwendung

Hinweis zu den Lüftungsöffnungen

Blockieren Sie die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) nicht. Andernfalls kann sich im Inneren ein Wärmestau bilden und es besteht Feuergefahr und das Gerät kann beschädigt werden.

Die Lage der Lüftungsöffnungen ist in den folgenden Abbildungen dargestellt. Weitere Sicherheitsmaßnahmen sind in den separaten Sicherheitsbestimmungen enthalten. Lesen Sie diese bitte sorgfältig durch.

1. Lüftungsöffnungen (Auslass)
2. Anzeigen
3. Fernbedienungssensor
4. Lüftungsöffnungen (Einlass)

Hinweis zum Netzkabel

Verwenden Sie ein für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignetes Netzkabel.

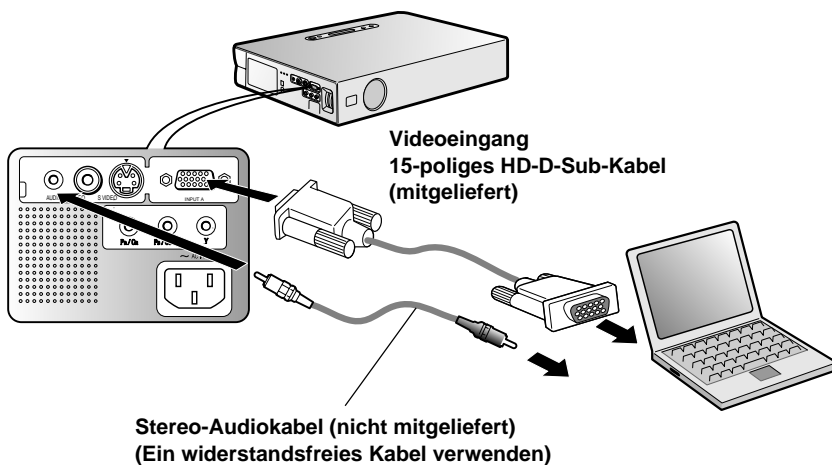
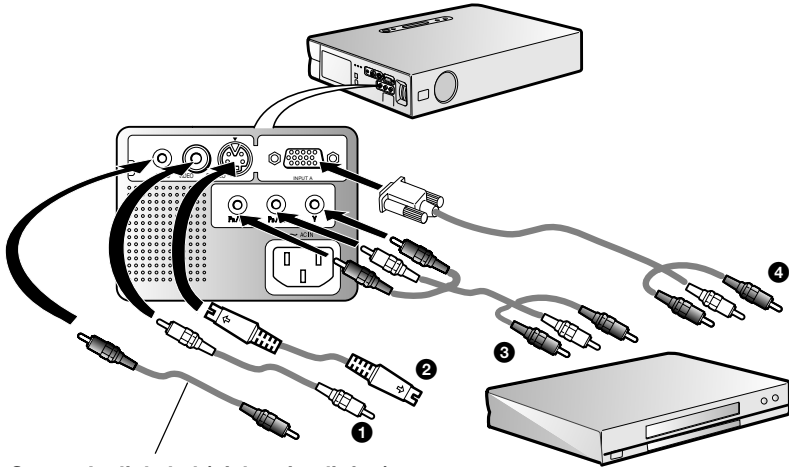
	USA, Kanada		**Kontinentaleuropa**		**Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland**	**Japan**
Steckertyp	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	—1)	YP332
Buchsentyp	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Kabeltyp	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Nennspannung und Stromstärke	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Kabellänge (max.)	4,5 m		—			

1) Verwenden Sie einen Stecker von ausreichender Belastbarkeit, der den örtlichen Vorschriften entspricht.

Projizieren

Anschließen des Projektors

Achten Sie beim Anschließen des Projektors auf Folgendes:

- Schalten Sie alle Geräte aus, bevor Sie Anschlüsse vornehmen.
- Verwenden Sie die richtigen Kabel für jeden Anschluss.
- Stecken Sie die Kabelstecker fest ein. Ziehen Sie ein Kabel immer am Stecker heraus, nie am Kabel selbst.
  Schlagen Sie bitte auch in der Bedienungsanleitung zum anzuschließenden Gerät nach.
  In den folgenden Abbildungen ist das Modell VPL-ES2 dargestellt.

Anschluss an einen Videorecorder/DVD-Player

Stereo-Audiokabel (nicht mitgeliefert)
(Ein widerstandsfreies Kabel verwenden)

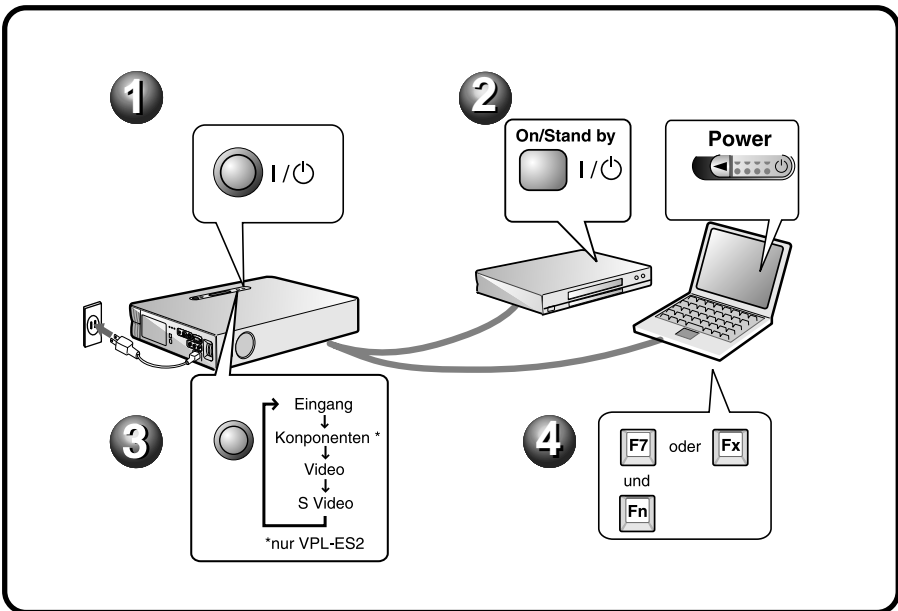
Bei Videosignalverbindungen haben Sie die folgenden vier Anschlussmöglichkeiten:

❶ FBAS-Video-Kabel (Cinchstecker)* (nicht mitgeliefert)
❷ S-Videokabel (Mini-DIN 4-polig,)* (nicht mitgeliefert)
❸ Komponentenkabel (3 × Cinchstecker)* (nur VPL-ES2) (nicht mitgeliefert) (Verwenden Sie ein 75-Ω-Koaxialkabel)
❹ Komponentenkabel (D-Sub, 15-polig ←→ 3 × Cinchstecker)* (nicht mitgeliefert)

Wenn Anschluss ❹ vorgenommen wird, wählen Sie das Eingangssignal mit „Input-A Sig. wahl" im Menü EINSTELLUNG aus. Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

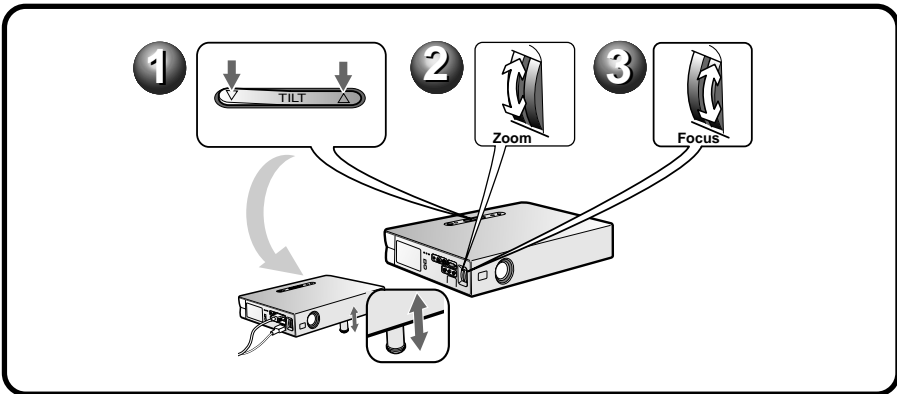
Projizieren

Vor dem Anschließen der Geräte, stecken Sie das Netzkabel in eine Netzsteckdose.

1. Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).
2. Schalten Sie die an den Projektor angeschlossenen Geräte ein.
3. Drücken Sie die Taste INPUT zur Wahl der Signalquelle.
4. Wenn Sie einen Computer angeschlossen haben, stellen Sie diesen so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.

Einstellen des Projektors

❶ Dient zum Einstellen der Bildposition.

❷ Stellen Sie die Bildgröße ein.

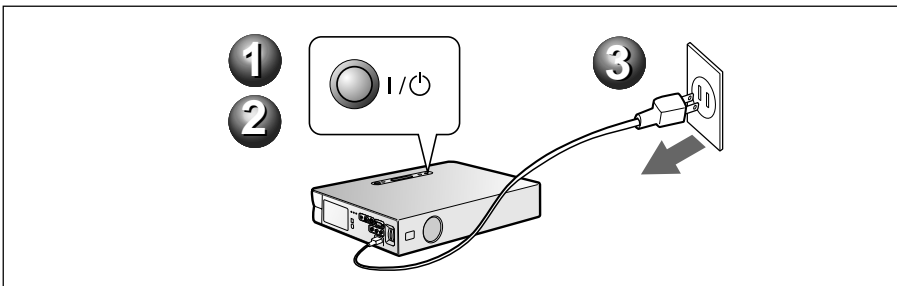
❸ Stellen Sie die Bildschärfe ein.
Der Projektor verfügt über das Menü BILDEINSTELLUNG zum Auswählen des Bildmodus sowie das Menü EINGANGS-EINSTELLUNG zum Auswählen des geeigneten Bildseitenverhältnisses. Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Ausschalten der Stromversorgung

❶ Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).

❷ Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft) erneut.

❸ Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Ventilator stehen bleibt und die Anzeige ON/STANDBY rot leuchtet.

Hinweis

- Ziehen Sie das Netzkabel nicht ab, solange der Ventilator noch läuft. Andernfalls kann das Gerät beschädigt werden. (nur VPL-ES2)
- Die interne Schaltung der Off & Go-Funktion kann bewirken, dass der Lüfter noch kurze Zeit weiterläuft, selbst nachdem der Projektor durch Drücken der Taste I/⏻ ausgeschaltet wurde und die Anzeige ON/STANDBY auf Rot gewechselt ist. (nur VPL-CS7)

Auswechseln der Lampe

Hinweise

- Verwenden Sie die Projektorlampe **LMP-E180 (VPL-CS7) / LMP-E150 (VPL-ES2)** als Ersatzlampe. Bei Verwendung einer anderen Lampe als LMP-E180 oder LMP-E150 kann der Projektor beschädigt werden.
- Schalten Sie unbedingt den Projektor aus und ziehen Sie das Netzkabel aus der Netzsteckdose, bevor Sie die Lampe austauschen.

Vorsicht

Die Lampe ist unmittelbar nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻ noch heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.**

Hinweise

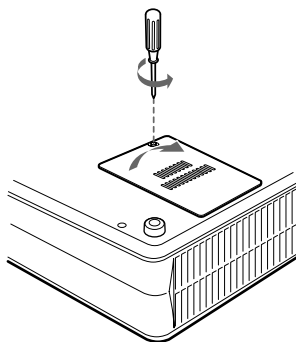
- **Wenden Sie sich im Falle eines Lampenausfalls an eine Kundendienststelle.**
- Ziehen Sie die Lampe am Griff heraus. Bei Berührung der Lampe besteht Verbrennungs- oder Verletzungsgefahr.
- Achten Sie beim Entfernen der Lampe darauf, dass sie waagerecht bleibt und gerade hochgezogen wird. Die Lampe darf nicht geneigt werden. Falls die Lampe durch schräges Herausziehen bricht, können sich die Splitter zerstreuen und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

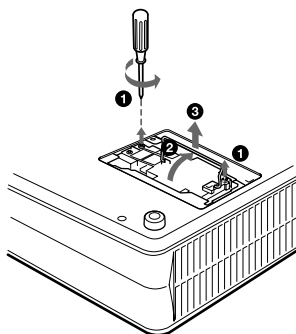
2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor. Drehen Sie den Projektor um, so dass er auf der Oberseite liegt.

Hinweis

Achten Sie darauf, dass der Projektor nach dem Umdrehen stabil liegt.

3 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der Schraube mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.

Hinweis

Lösen Sie aus Sicherheitsgründen keine anderen Schrauben.

4 Lösen Sie die zwei Schrauben an der Lampeneinheit mit dem Kreuzschlitzschraubenzieher (❶). Klappen Sie den Griff aus (❷), und ziehen Sie dann die Lampeneinheit am Griff heraus (❸).

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt. Ziehen Sie die beiden Schrauben an. Klappen Sie den Griff ein.

Hinweise

- Achten Sie darauf, den Glaskörper der Lampe nicht zu berühren.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, wenn die Lampe nicht einwandfrei sitzt.

6 Schließen Sie die Lampenabdeckung, und ziehen Sie die Schrauben an.

7 Drehen Sie den Projektor wieder um.

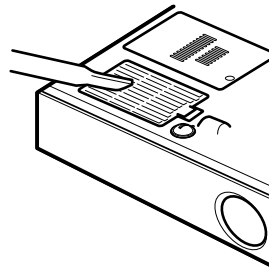
8 Schließen Sie das Netzkabel an. Die Anzeige ON/STANDBY um die Taste I/⏻ leuchtet rot auf.

9 Drücken Sie die folgenden Tasten an der Fernbedienung in der folgenden Reihenfolge jeweils höchstens fünf Sekunden lang: RESET, ◀, ▶, ENTER.

Hinweis

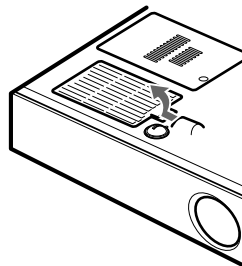
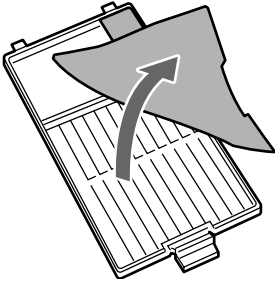
Greifen Sie nicht in den Lampensteckplatz, und achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper eindringen, um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden.

Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter sollte alle 500 Betriebsstunden gereinigt werden.
Entfernen Sie Staub mit einem Staubsauger von der Außenseite der Lüftungsöffnungen, wenn die Meldung „Bitte Filter reinigen" im Display erscheint.
500 Stunden ist ein Näherungswert. Dieser Wert hängt von der Umgebung und Benutzungsart des Projektors ab.

Wenn sich der Staub nur noch schwer mit einem Staubsauger vom Filter entfernen lässt, nehmen Sie den Filter heraus und waschen Sie ihn.

1 Schalten Sie das Gerät aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor, und drehen Sie den Projektor um.

3 Nehmen Sie die Luftfilterabdeckung ab.

4 Nehmen Sie den Luftfilter heraus.

5 Waschen Sie den Luftfilter mit einer milden Reinigungslösung, und lassen Sie ihn an einem schattigen Ort trocknen.

6 Setzen Sie den Luftfilter wieder ein, und bringen Sie die Abdeckung wieder an.

Hinweise

- **Wird die Reinigung des Luftfilters vernachlässigt, kann der Luftfilter durch Staubablagerung zugesetzt werden. Als Folge kann die Temperatur im Gerät so weit ansteigen, dass es zu einer Funktionsstörung oder sogar einem Brand kommen kann.**
- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch den mitgelieferten Ersatzluftfilter.
- Bringen Sie die Luftfilterabdeckung vorschriftsmäßig an. Anderenfalls kann sich Staub im Inneren des Projektors ansammeln, was zu einer möglichen Funktionsstörung führen kann.

Störungsbehebung

Falls Störungen im Projektorbetrieb auftreten, versuchen Sie anhand der folgenden Anweisungen, das Problem einzugrenzen und zu beheben. Falls das Problem bestehen bleibt, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Fachpersonal.
Weitere Informationen zu den Fehlersymptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Meldungen

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Gerät lässt sich nicht einschalten.	• Das Gerät wurde mit der Taste I/⏻ in kurzem Abstand aus- und wieder eingeschaltet. → Warten Sie vor dem erneuten Einschalten etwa 90 Sekunden lang. • Die Lampenabdeckung wurde abgenommen. → Schließen Sie die Lampenabdeckung einwandfrei.
Neigungseinstellfuß und Objektivschutz werden nicht geschlossen.	• Das Netzkabel wurde bei eingeschaltetem Projektor abgezogen. → Schließen Sie das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie dann den Projektor aus.
Es wird kein Bild angezeigt.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. → Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Die Anschlüsse wurden nicht richtig vorgenommen. → Nehmen Sie die Anschlüsse richtig vor. • Die Eingangswahl ist nicht korrekt. → Wählen Sie die Eingangsquelle mit der Taste INPUT korrekt aus. • Der Computer ist nicht auf Signalausgabe an einen externen Monitor oder aber auf Signalausgabe sowohl an einen externen Monitor als auch an den eigenen LCD-Monitor eingestellt. → Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe **nur** zu einem externen Monitor erfolgt. → Je nach der Art Ihres Computers (z.B.Notebook-Computer oder voll integrierter LCD-Typ) müssen Sie den Computer eventuell durch Drücken bestimmter Tasten oder durch Andern der Einstellungen so einstellen, dass das Ausgangssignal an den Projektor ausgegeben wird. Einzelheiten entnehmen Sie bitte der Bedienungsanleitung Ihres Computers.
Das Bild ist verrauscht.	• Hintergrundrauschen kann auftreten, wenn die Anzahl der über den Anschluss eingespeisten Bildpunkte nicht mit der Anzahl der Pixel auf dem LCD-Panel übereinstimmt. → Andern Sie das Desktop-Muster des angeschlossenen Computers.
Das in INPUT A eingespeiste Bild weist Farbverfälschungen auf.	• Die Einstellung von „Input-A Sig.wahl“ im Menü EINSTELLUNG ist falsch. → Wählen Sie je nach dem Eingangssignal „Computer“, „Video GBR“ oder „Komponenten“.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild ist unscharf.	• Das Bild wurde nicht richtig scharf gestellt. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Das Objektiv ist beschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet stehen.
Das Bild steht von der Leinwand über.	• Die Taste APA wurde gedrückt, obwohl schwarze Balken am Bildrand vorhanden sind. ➔ Zeigen Sie das volle Bild auf der Leinwand an, und drücken Sie die Taste APA. ➔ Stellen Sie „Lage“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.
Das Bild flimmert.	• „Punkt-Phase“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG wurde nicht korrekt eingestellt. ➔ Stellen Sie „Punkt-Phase“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.

Anzeigen

POWER SAVING	Leuchtet auf, wenn sich der Projektor im Stromsparmodus befindet.
TEMP (Temperatur)/FAN	Leuchtet auf, wenn die Temperatur im Projektor ungewöhnlich stark ansteigt. Prüfen Sie, ob die Lüftungsöffnungen blockiert werden.
	Blinkt bei Ausfall des Ventilators. Wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Fachpersonal.
LAMP/COVER	Leuchtet auf, wenn die Lampe ausgewechselt werden muss oder zu heiß wird. Warten Sie 90 Sekunden, bis die Lampe etwas abgekühlt ist, und schalten Sie das Gerät wieder ein oder tauschen Sie die Lampe aus.
	Blinkt, wenn die Lampenabdeckung nicht richtig geschlossen ist. Bringen Sie die Abdeckung fest an.
Anzeige I /⏻	Leuchtet rot, wenn das Netzkabel in eine Netzsteckdose gesteckt wird. Wenn sich der Projektor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit der Taste I/⏻ einschalten.
	Leuchtet grün, wenn der Projektor eingeschaltet wird.
	Blinkt in Grün, während der Lüfter nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻. In dieser Zeit können Sie den Projektor nicht einschalten.

Technische Daten

Projektionssystem
Projektionssystem mit 3 LCD-Panels und 1 Objektiv

LCD-Panel Super-high-Aperture-0,62-Zoll-SVGA-Panel, 1.440.000 Pixel (480.000 Pixel × 3)

Objektiv 1,2-fach-Zoom-Objektiv (manuell)
Brennweite 18,0 bis 21,6 mm/F 2,2 bis 2,4

Lampe VPL-CS7: 185 W UHP
VPL-ES2: 157 W UHP

Projektionsbildgröße
Bereich: 40 bis 300 Zoll (Diagonale)

Lichtleistung
VPL-CS7: ANSI-Lumen[1)] 1800 lm
VPL-ES2: ANSI-Lumen[1)] 1500 lm
(Bei Einstellung des Lichtleistung auf „Hoch“)

Projektionsentfernung (Bei Bodenaufstellung)
Bei Einspeisung des SVGA-Signals:
40-Zoll: 1,1 bis 1,4 m
60-Zoll: 1,7 bis 2,1 m
80-Zoll: 2,3 bis 2,8 m
100-Zoll: 2,9 bis 3,5 m
120-Zoll: 3,5 bis 4,2 m
150-Zoll: 4,4 bis 5,3 m
200-Zoll: 5,9 bis 7,0 m
300-Zoll: 8,8 bis 10,6 m

Es kann eine geringe Differenz zwischen dem tatsächlichen Wert und dem oben angegebenen Konstruktionswert vorhanden sein.

Farbsystem NTSC$_{3.58}$/PAL/SECAM/NTSC$_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60-System, automatische/manuelle Umschaltung

Akzeptable Computersignale[2)]
fH: 19 bis 72 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: XGA 1024 × 768 fV: 85 Hz)

Anwendbare Videosignale
15 kHz RGB-/Komponentensignal 50/60 Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i 720/60p, 720/50p, 540/60p), FBAS-Video, Y/C-Video

Abmessungen
295 × 78 × 238 mm (B/H/T) (ohne vorspringende Teile)

Gewicht VPL-CS7: ca. 2,9 kg
VPL-ES2: ca. 2,8 kg

Stromversorgung
100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz

Leistungsaufnahme
VPL-CS7: Max. 250 W
VPL-ES2: Max. 220 W
(Bereitschaftsmodus: 4,6 W)

Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Lithiumbatterie CR2025 (1)
15-poliges HD-D-Sub-Kabel (2 m) (1) (1-791-992-21)
Tragetasche (1)
Netzkabel (1)
Luftfilter (als Ersatz) (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Anderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Sonderzubehör

Projektorlampe (als Ersatz)
LMP-E180 (nur für VPL-CS7)
LMP-E150 (nur für VPL-ES2)

Signalkabel SMF-402 (HD D-Sub 15-polig (Stecker) ⟷ 3 × Cinch (Stecker))

1) ANSI-Lumen ist ein Messverfahren gemäß American National Standard IT 7.228.
2) Stellen Sie Auflösung und Frequenz des vom angeschlossenen Computer ausgegebenen Signals auf Werte ein, die innerhalb des Bereichs der akzeptablen Vorwahlsignale des Projektors liegen. Weitere Informationen dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Informazioni relative alla Guida rapida all'uso

Nella presente Guida rapida all'uso sono illustrati i collegamenti e le operazioni di base dell'apparecchio e vengono fornite note sulle operazioni nonché le informazioni necessarie per la manutenzione.
Per ulteriori informazioni sulle operazioni, consultare le Istruzioni per l'uso incluse nel CD-ROM in dotazione.
Per le precauzioni sulla sicurezza, consultare il manuale "Normative di sicurezza" separato.

Uso dei manuali inclusi nel CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le Istruzioni per l'uso e il file ReadMe disponibili nelle lingue Giapponese, Inglese, Francese, Tedesco, Italiano, Spagnolo e Cinese. Innanzitutto, consultare il file ReadMe.

Operazioni preliminari

Per consultare le Istruzioni per l'uso incluse nel CD-ROM, è necessario disporre di Adobe Acrobat Reader 5.0 o versione successiva. Se Adobe Acrobat Reader non è installato nel computer, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader accedendo all'indirizzo URL di Adobe Systems.

Lettura delle Istruzioni per l'uso

Le Istruzioni per l'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM in dotazione nell'apposita unità del computer. Dopo alcuni istanti, il CD-ROM viene avviato automaticamente.
Selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.
È possibile che il CD-ROM non venga avviato automaticamente, a seconda del computer. In tal caso, aprire il file delle Istruzioni per l'uso effettuando quanto segue:

(Per Windows)

① Aprire "Risorse del computer".
② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM, quindi selezionare "Explorer (Esplora)".
③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.

(Per Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.
② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni per l'uso che si desidera leggere.

Nota

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle Istruzioni per l'uso che si desidera consultare tra quelle incluse nella cartella "Operating_Instructions".

Informazioni sui marchi di fabbrica

- Windows è un marchio di fabbrica registrato di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Macintosh è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc. negli Stati Uniti e/o in altri paesi.
- Adobe e Acrobat Reader è un marchio di fabbrica registrato di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti e/o in altri paesi.

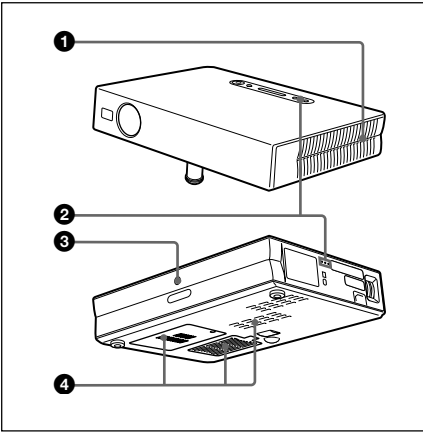
Indice

Note sull'uso

Nota sulle prese di ventilazione

Non ostruire le prese di ventilazione (scarico/aspirazione). Diversamente, potrebbero verificarsi surriscaldamenti interni e causarsi incendi o eventuali danni all'apparecchio.

Verificare le posizioni delle prese di ventilazione nelle illustrazioni riportate di seguito.

Per le altre precauzioni, consultare attentamente il manuale "Normative di sicurezza" separato.

1. Prese di ventilazione (scarico)
2. Indicatori
3. Sensore comando a distanza
4. Prese di ventilazione (aspirazione)

Nota sul cavo di alimentazione

Usare un cavo di alimentazione adatto alla rete di distribuzione locale.

	Stati Uniti d'America, Canada		Europa continentale		UK, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
Tipo di connettore	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
Tipo di cavo	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
Tensione e corrente nominale	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
Norma di sicurezza	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
Lunghezza del cavo (massima)	4,5 m		—			

1) Usare una spina i cui valori nominali sono conformi alle normative locali applicabili.

IT

Proiezione

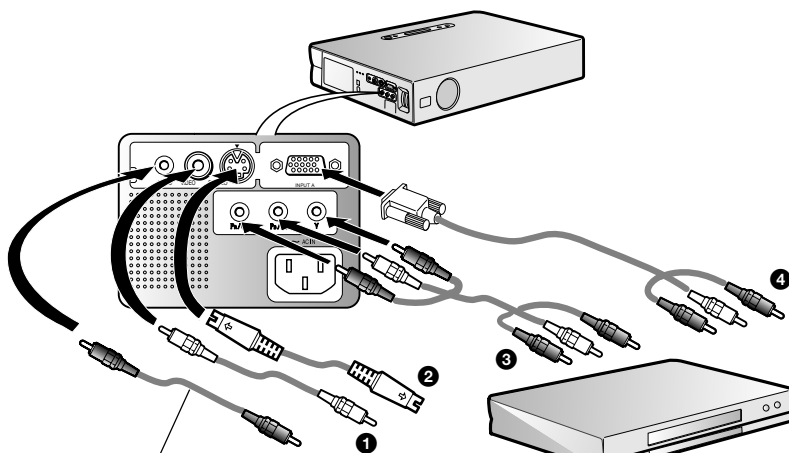
Collegamento del proiettore

Quando si collega il proiettore, accertarsi di:

- Spegnere tutti gli apparecchi prima di effettuare qualsiasi collegamento.
- Usare i cavi appropriati per ciascun collegamento.
- Inserire saldamente le spine dei cavi. Per scollegare il cavo, assicurarsi di afferrarlo per la spina. Non tirare mai il cavo stesso.

Fare inoltre riferimento al manuale delle istruzioni dell’apparecchio da collegare.

(Nelle illustrazioni riportate di seguito, viene utilizzato il modello VPL-ES2.)

Collegamento con un videoregistratore/lettore DVD

Cavo di collegamento audio stereo
(non in dotazione)
Usare un cavo senza resistenza.

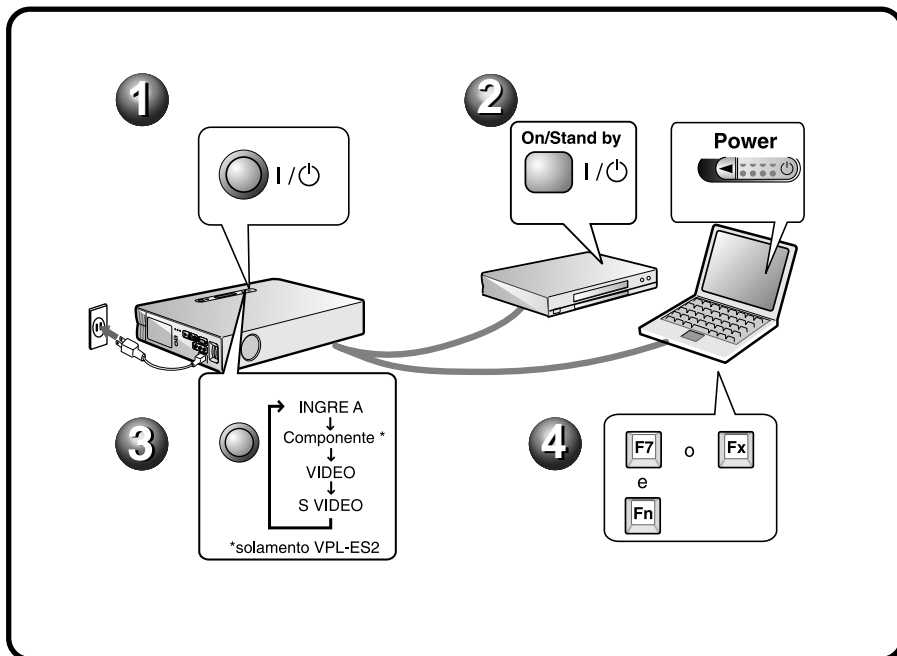
Per i segnali video, sono disponibili le quattro opzioni di collegamento riportate di seguito:

❶ Cavo video composito (spina fono)* (non in dotazione)
❷ Cavo S video (Mini DIN a 4 pin)* (non in dotazione)
❸ Cavo componente (3 × spina fono)* (solo VPL-ES2) (non in dotazione) (Usare un cavo coassiale da 75 Ω)
❹ Cavo componente (D-sub a 15 pin ⟷ 3 × spina fono)* (non in dotazione)

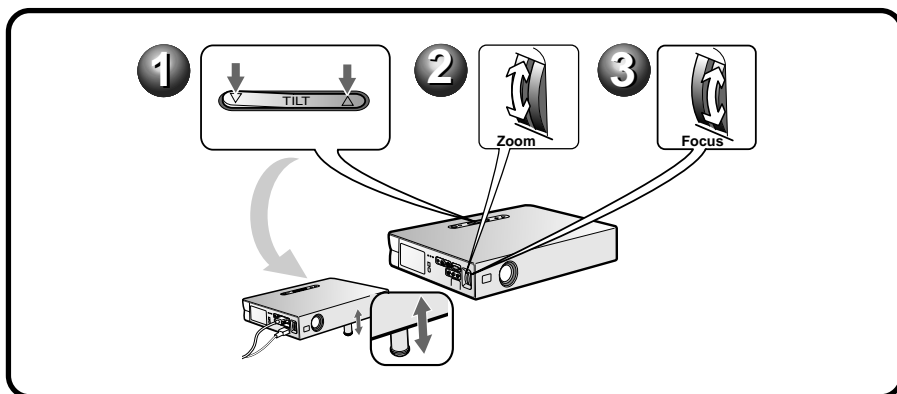
Se viene utilizzato il collegamento ❹, selezionare il segnale di ingresso mediante l'impostazione "Sel. segn. in A" nel menu REGOLAZIONE. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

Proiezione

Prima di procedere al collegamento degli apparecchi, inserire il cavo di alimentazione c.a. in una presa a muro.

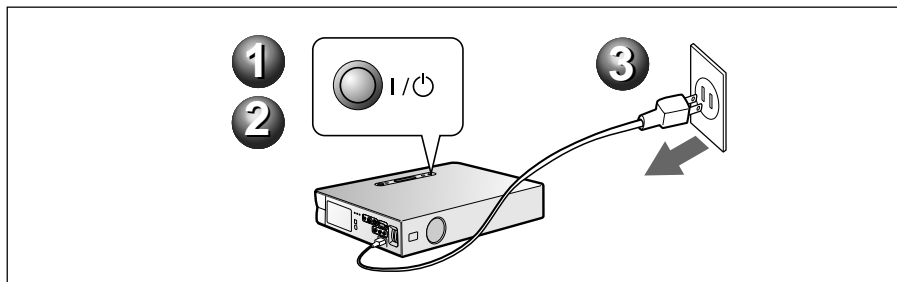
❶ Premere il tasto I/⏻ (accensione/attesa).
❷ Accendere l'apparecchio collegato al proiettore.
❸ Premere il tasto INPUT per selezionare la sorgente di ingresso.
❹ Quando è collegato il computer, impostare quest'ultimo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.

Regolazione del proiettore

1. Regola la posizione dell'immagine.
2. Regolare la dimensione dell'immagine.
3. Regolare la messa a fuoco.

   Il proiettore dispone del menu IMPOSTA IMMAGINE, in cui è possibile selezionare il modo di immagine, e del menu IMPOST. ISTALLAZIONE, in cui è possibile selezionare il rapporto di formato dell'immagine. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

Spegnimento dell'alimentazione

1. Premere il tasto I/⏻ (accensione/attesa).
2. Non appena viene visualizzato un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻ (accensione/attesa).
3. Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro quando la ventola si ferma e l'indicatore ON/STANDBY si illumina in rosso.

Note

- Non scollegare il cavo di alimentazione c.a. mentre la ventola è ancora in funzione. Diversamente, è possibile causare danni all'apparecchio (solamento VPL-ES2).
- Il circuito interno della funzione Off & Go potrebbe fare in modo che la ventola continui a funzionare per un breve tempo anche dopo che il tasto I/⏻ è stato premuto per spegnere l'alimentazione e che l'indicatore ON/STANDBY è diventato rosso. (soltanto VPL-CS7)

Sostituzione della lampada

Note

- Usare una lampada per proiettori **LMP-E180 (VPL-CS7) / LMP-E150 (VPL-ES2)** come lampada di ricambio. L'uso di lampade diverse da LMP-E180 o LMP-E150 potrebbe danneggiare il proiettore.
- Prima di procedere alla sostituzione della lampada, assicurarsi di spegnere il proiettore e di scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro.

Attenzione

Dopo aver spento il proiettore con il tasto I/⏻, la temperatura della lampada sarà elevata. **Non toccare la lampada onde evitare di scottarsi le dita. Per sostituire la lampada, attendere almeno un'ora che questa si raffreddi.**

Note

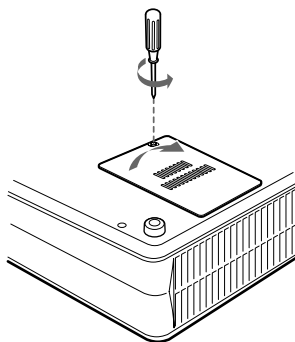
- **Se la lampada si rompe, rivolgersi al centro di assistenza clienti.**
- Estrarre la lampada tenendo la maniglia. Se si tocca la lampada, ci si potrebbe ustionare o ferire.
- Quando si rimuove la lampada, accertarsi che rimanga orizzontale, quindi tirare diritto verso l'alto. Non inclinare la lampada. Se si estrae la lampada mentre è inclinata e se la lampada si rompe, i frammenti possono spargersi, provocando delle lesioni.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

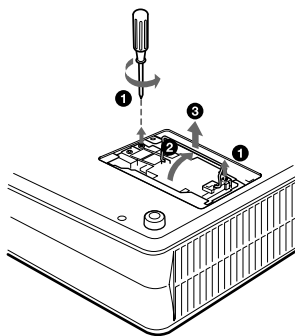
2 Mettere un telo protettivo di stoffa sotto il proiettore. Capovolgere il proiettore in modo che il lato inferiore sia visibile.

Nota

Assicurarsi che il proiettore sia stabile dopo averlo capovolto.

3 Aprire il coperchio della lampada svitando la vita con il cacciavite con punta a croce.

Nota

Per motivi di sicurezza, non allentare nessuna altra vite.

4 Svitare le due viti sull'unità della lampada con il cacciavite con punta a croce (❶). Piegare in fuori la maniglia (❷), quindi tirare fuori l'unità lampada usando la maniglia (❸).

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione. Serrare le due viti. Piegare la maniglia.

Note

- Fare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada.
- Se la lampada non è stata fissata correttamente non sarà possibile accendere l'apparecchio.

6 Chiudere il coprilampada e stringere le viti.

7 Riportare il proiettore nella posizione diritta.

8 Collegare il cavo di alimentazione. L'indicatore ON/STANDBY intorno al tasto I/⏻ si illumina in rosso.

9 Premere sul telecomando i seguenti tasti, nell'ordine, per meno di cinque secondi ciascuno: RESET, ◀, ▶, ENTER.

Nota

Non mettere le mani all'interno dell'alloggiamento della lampada né farvi cadere alcun liquido o oggetto onde **evitare le scosse elettriche o l'incendio**.

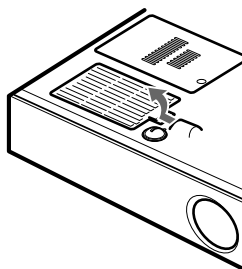
Pulizia del filtro dell'aria

Il filro dell'aria deve essere pulito ogni 500 ore.
Se viene visualizzato il messaggio "Pulire il filtro", asportare la polvere dall'esterno dei fori di ventilazione usando un aspirapolvere.
500 ore è un valore approssimativo. Questo valore cambia in funzione dell'ambiente e dell'uso del proiettore.

Quando si incontrano difficoltà per eliminare la polvere dal filtro con un aspirapolvere, rimuovere il filtro dell'aria e lavarlo.

1 Disinserire l'alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Mettere un telo di stoffa protettivo sotto il proiettore e capovolgere il proiettore.

3 Rimuovere il coperchio del filtro dell'aria.

4 Rimuovere il filtro dell’aria.

5 Lavare il filtro dell’aria con una soluzione detergente leggera ed asciugarlo all’ombra.

6 Montare il filtro dell’aria e il coperchio.

Note

- **Se non si pulisce il filtro dell’aria, la polvere potrebbe accumularsi e intasarlo. Di conseguenza, la temperatura all’interno dell’apparecchio può aumentare dando luogo a possibili problemi di funzionamento o incendi.**
- Se non è possibile eliminare la polvere dal filtro dell’aria, sostituire il filtro dell’aria con quello nuovo fornito.
- Avere cura di montare saldamente il coperchio del filtro dell’aria. Diversamente potrebbe accumularsi della polvere all’interno del proiettore e causare un guasto.

Soluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e risolvere il problema usando le seguenti istruzioni. Se il problema persiste, rivolgersi al personale qualificato Sony.
Per ulteriori informazioni sui sintomi, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

Messaggi

Sintomo	Causa e soluzione
L'alimentazione non viene inserita.	• L'alimentazione è stata disinserita e inserita con il tasto I /⏻ troppo rapidamente. ➔ Prima di accendere l'alimentazione, attendere almeno 90 secondi. • Il coprilampada è staccato. ➔ Chiudere saldamente il coprilampada.
Il dispositivo motorizzato di regolazione dell'inclinazione e il copriobiettivo non si chiudono.	• Il cavo di alimentazione c.a. è scollegato con il proiettore acceso. ➔ Collegare di nuovo il cavo di alimentazione alla presa c.a., quindi spegnere il proiettore.
Non viene riprodotta nessuna immagine.	• Il cavo è scollegato o i collegamenti non sono corretti. ➔ Verificare che siano stati effettuati i collegamenti corretti. • I collegamenti sono stati effettuati seguendo procedure errate. ➔ Verificare le procedure corrette. • La selezione dell'ingresso non è corretta. ➔ Selezionare correttamente la sorgente di ingresso usando il tasto INPUT. • Il segnale del computer non è impostato per l'invio ad un monitor esterno o è impostato per l'invio sia ad un monitor esterno che ad un monitor LCD di un computer. ➔ Impostare il segnale del computer in modo che sia trasmesso **solo** a un monitor esterno. ➔ Secondo il tipo di computer utilizzato, per esempio un notebook o di tipo integrato con LCD, potrebbe essere necessario commutare il segnale video verso il proiettore premendo determinati tasti o modificando le impostazioni del computer. Per i dettagli, fare riferimento alle istruzioni d'uso in dotazione con il computer.
L'immagine è disturbata.	• È possibile che l'immagine sia disturbata sullo sfondo secondo la combinazione dei numeri di punti in ingresso dal connettore e dei numeri di pixel sul pannello LCD. ➔ Modificare il modello del desktop sul computer collegato.
Il colore dell'immagine dal connettore INPUT A è anomalo.	• L'impostazione di "Sel. segn. in. A" nel menu REGOLAZIONE è errata. ➔ Selezionare "Computer", "Video GBR" o "Componenti" correttamente, in funzione del segnale d'ingresso.

Sintomo	Causa e soluzione
L’immagine non è chiara.	• L’immagine non è a fuoco. ➔ Regolare la messa a fuoco. • Sull’obiettivo si è creata della condensa. ➔ Lasciare acceso il proiettore per circa due ore.
L’immagine si estende oltre lo schermo.	• Il tasto APA è stato premuto anche se ci sono dei bordi neri intorno all’immagine. ➔ Visualizzare l’immagine intera sullo schermo e premere il tasto APA. ➔ Regolare correttamente “Spostamento” nel menu REGOLAZIONE INGRESSO.
L’immagine sfarfalla.	• Non è stato regolato correttamente “Fase punto” nel menu REGOLAZIONE INGRESSO. ➔ Regolare correttamente “Fase punto” nel menu REGOLAZIONE INGRESSO.

Indicatori

POWER SAVING	Si illumina quando il proiettore è nel modo di attesa.
TEMP (Temperatura)/FAN	Si illumina quando la temperatura all’interno del proiettore diventa insolitamente eccessiva. Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite.
	Lampeggia quando la ventola è rotta. Rivolgersi al personale qualificato Sony.
LAMP/COVER	Si illumina quando la lampada ha raggiunto la fine della sua durata o si riscalda eccessivamente. Attendere 90 secondi per lasciare raffreddare la lampada, quindi attivare di nuovo l’alimentazione o sostituire la lampada.
	Lampeggia quando il coperchio della lampada non è bloccato correttamente. Applicare il coprilampada in modo saldo.
Indicatore I /⏻.	Si illumina in rosso quando il cavo di alimentazione c.a. viene inserito nella presa a muro. Una volta nel modo di attesa, è possibile accendere il proiettore con il tasto I /⏻.
	Si illumina in verde quando viene inserita l’alimentazione.
	Lampeggia in verde mentre la ventola di raffreddamento gira dopo che l’alimentazione è stata spenta con il tasto I /⏻. Durante questo periodo di tempo, non è possibile accendere il proiettore.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 pannelli LCD, 1 obiettivo, sistema di proiezione

Pannello LCD :
Pannello SVGA da 0,62 pollici ad apertura molto alta con 1.440.000 pixel (480.000 pixel × 3)

Obiettivo Con zoom a ingrandimento di 1,2 volte (manuale)
f da 18,0 a 21,6 mm/F da 2,2 a 2,4

Lamp VPL-CS7: 185 W UHP
VPL-ES2: 157 W UHP

Dimensioni dell'immagine di proiezione
Gamma: da 40 a 300 pollici (misurati diagonalmente)

Flusso luminoso
VPL-CS7: ANSI lumen[1] 1800 lm
VPL-ES2: ANSI lumen[1] 1500 lm
(quando il Modo lampada è impostato su "Alto")

Distanza di proiezione (sistemato sul pavimento)
Quando viene immesso il segnale SVGA:
40 pollici: da 1,1 a 1,4 m (da 3,6 a 4,6 piedi)
60 pollici: da 1,7 a 2,1 m (da 5,6 a 6,9 piedi)
80 pollici: da 2,3 a 2,8 m (da 7,5 a 9,2 piedi)
100 pollici: da 2,9 a 3,5 m (da 9,5 a 11,5 piedi)
120 pollici: da 3,5 a 4,2 m (da 11,5 a 13,8 piedi)
150 pollici: da 4,4 a 5,3 m (da 14,4 a 17,4 piedi)
200 pollici: da 5,9 a 7,0 m (da 19,4 a 28,9 piedi)
300 pollici: da 8,8 a 10,6 m (da 23 a 34,8 piedi)

Ci potrebbe essere una leggera differenza tra il valore reale e il valore di progetto indicato sopra.

Sistema colore
Sistema $NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/ $NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60, inserito automaticamente/ manualmente

Segnali da computer accettabili[2]
fH: da 19 a 72 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(Risoluzione massima del segnale in ingresso: XGA 1024 × 768 fV: 85 Hz)

Segnali video applicabili
15 kHz RGB/componente 50/60 Hz, componente progressiva 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 1080/60i, 480/60p, 575/50p, 1080/50i 720/60p, 720/50p, 540/60p), video composito, video Y/C

Dimensioni 295 × 78 × 238 mm (11 5/8 × 3 1/8 × 9 3/8 pollici) (l/a/p) (senza le parti sporgenti)

Peso VPL-CS7: Circa 2,9 kg
VPL-ES2: Circa 2,8 kg

Requisiti di alimentazione
c.a. da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo energetico
VPL-CS7: Max. 250 W
VPL-ES2: Max. 220 W
(Modo di attesa: 4,6 W)

Accessori in dotazione
Telecomando (1)
Pila al litio CR2025 (1)
Cavo HD D-sub a 15 pin (2 m) (1) (1-791-992-21)
Custodia morbida (1)
Cavo di alimentazione c.a. (1)
Filtro dell'aria (ricambio) (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)
Guida rapida allúso (1)
Etichetta di sicurezza (1)

Design e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Accessori opzionali

Lampada per proiettori (ricambio)
LMP-E180 (solo per VPL-CS7)
LMP-E150 (solo per VPL-ES2)

Cavo per segnale
SMF-402 (HD D-sub a 15 pin (maschio) ⟷ 3 × tipo fono (maschio))

---

1) ANSI lumen è un metodo di misurazione dell'American National Standard IT 7.228.
2) Impostare la risoluzione e la frequenza del segnale del computer collegato entro la gamma di segnali preimpostati accettabili del proiettore. Per ulteriori informazioni, consultare le Istruzioni per l'uso contenute nel CD-ROM.

关于快速参考手册

本快速参考手册讲述了本装置的连接和基本操作，并提供了有关操作的注意事项和维护所需要的信息。
有关操作的详细说明，请参阅随机提供 CD-ROM 中所含的使用说明书。
有关安全预防措施，请参阅单独的“安全规则”。

使用 CD-ROM 电子手册

随机提供的 CD-ROM 含有日文版、英文版、法文版、德文版、意大利文版、西班牙文版和中文版使用说明书和自述文件。请先查阅自述文件。

准备工作

要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，则需要 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更新版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，您可以从 Adobe Systems 的 URL 下载免费 Acrobat Reader 软件。

阅读使用说明书

使用说明书包含在随机提供的 CD-ROM 中。将随机提供的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，过一会儿 CD-ROM 将自动播放。选择您想阅读的操作说明书。
视电脑的情况而定，CD-ROM 可能未自动播放。在此情况下，请采用以下方法打开使用说明书：

（Windows 系统）

① 打开“我的电脑”。
② 在 CD-ROM 图标上单击鼠标右键，并选择“打开”。
③ 双击“index.htm”文件，选择您想阅读的操作说明书。

（Macintosh 系统）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。
② 双击“index.htm”文件，选择您想阅读的操作说明书。

注意

如果您无法打开“index.htm”文件，双击“Operating_Instructions”文件夹中您想阅读的操作说明书。

关于商标

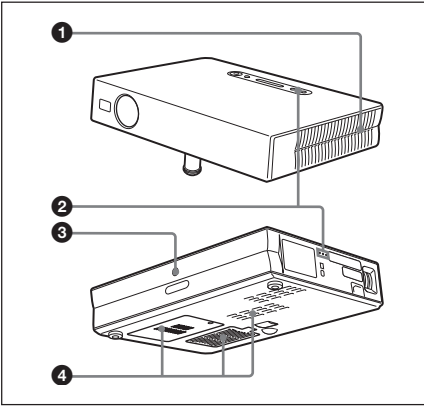
- Windows 是 Microsoft Corporation 在美国和/或其他国家的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美国和/或其他国家的注册商标。
- Adobe 和 Acrobat Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和/或其他国家的注册商标。

目录

使用注意事项

通风孔注意事项

切勿堵塞通风孔（排气和进气）。如果通风孔堵塞，则内部热量将积聚并可能引起火灾和损坏装置。
请检查下图所示的通风孔位置。

有关其它预防措施，请仔细参阅单独的“安全规则”。

❶ 通风孔（排气）
❷ 指示灯
❸ 遥控检测器
❹ 通风孔（进气）

CS

电源线注意事项

请使用适用于当地电源的电源线。

	美国、加拿大		欧共体		英国、爱尔兰、澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	_[1]	YP332
连接器类型	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
电线类型	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
额定电压和电流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全合格标准	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	DENAN
电线长（最大）	4.5 m		—			

（1）请使用符合当地规格的标准插头。

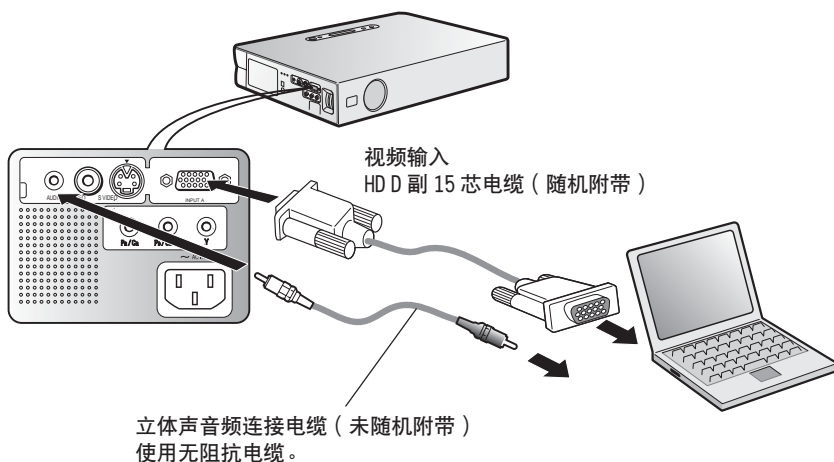
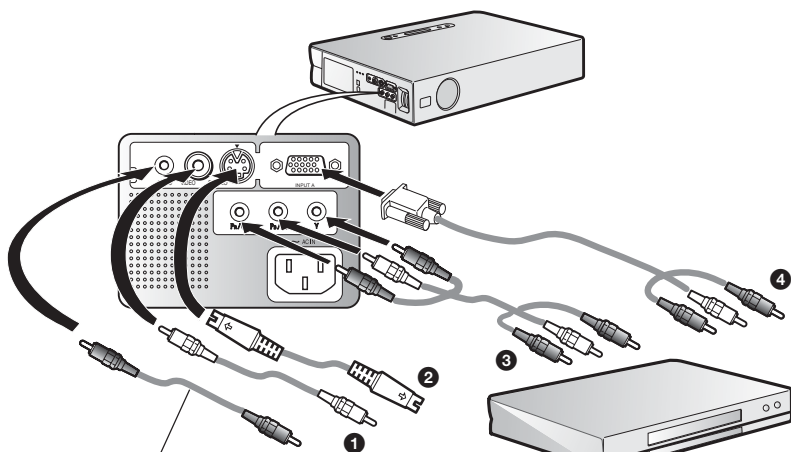
投影

连接投影机

在连接投影机时，请确保：

- 在进行任何连接之前，关闭所有装置的电源。
- 使用正确的电缆进行各种连接。
- 牢固插入电缆的插头。在拉电缆线时必须抓住插头拉，切勿拉电缆线本身。

同时请参阅所连接装置的使用说明书。
（以下插图使用 VPL-ES2。）

连接电脑

连接录像机/DVD 播放机

对于视频信号连接，可以使用以下四种连接选择：

❶ 复合视频（音频插头）*电缆（未随机附带）
❷ S 视频（微型 DIN 4 芯）*电缆（未随机附带）
❸ 分量视频（3 × 音频插头）（仅限用 VPL-ES2）*电缆（未随机附带）（使用 75 欧姆同轴电缆）
❹ 分量视频（D 副 15 芯 ⟷ 3 × 音频插头）*电缆（未随机附带）

如果采用第 ❹ 种连接，请在操作设定菜单中选择“输入 A 信号选择”输入信号。详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

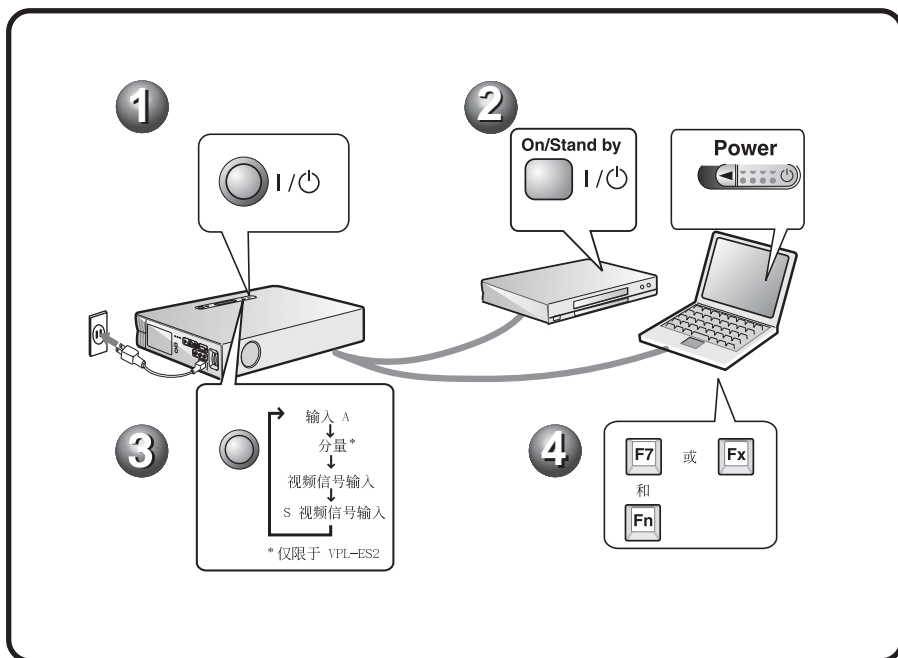
投影

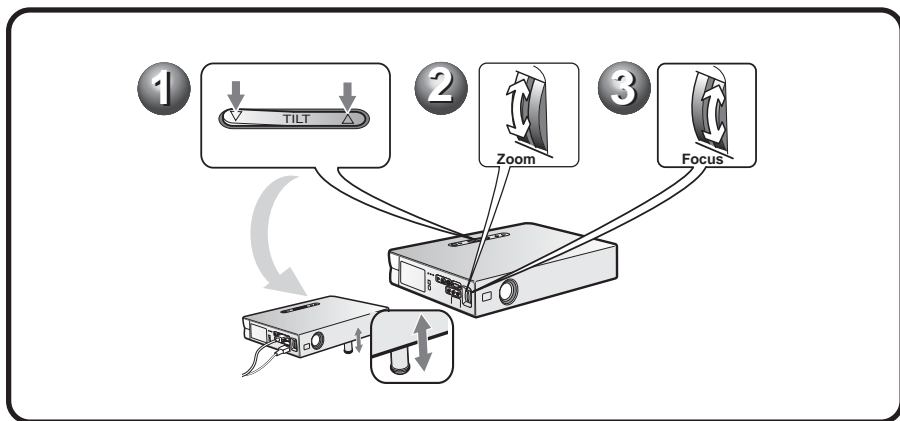
连接装置之前，将交流电源线插入墙上的电源插座。

❶ 按 I/⏻ 键。

❷ 接通连接到投影机的装置的电源。

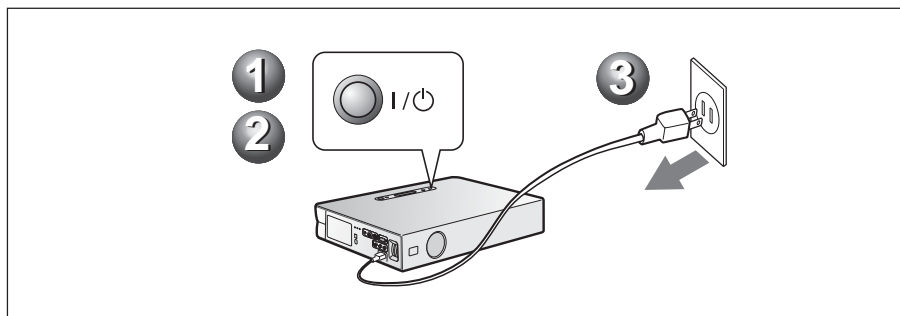
❸ 按 INPUT 键选择输入源。

❹ 当连接了电脑，请将其设定为仅将信号输出至外接监视器。

调节投影机

❶ 调整图象的位置。
❷ 调整图象的尺寸。
❸ 调整聚焦。
本投影机配备了图像设定菜单，可选择图像模式，输入设定菜单可选择合适的图像纵横比。详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

关闭电源

❶ 按 I/⏻ 键。
❷ 当出现一信息时，请再次按 I/⏻（接通/待机）键。
❸ 在风扇停止运转，并且 ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色后，将交流电源线插头从墙上插座拔出。

注意

- 风扇仍在运转时，请勿拔出交流电源线插头。否则可能会损坏本机。（仅适用 VPL-ES2）
- 即使按下 I/⏻ 键关闭电源且 ON/STANDBY 指示灯变为红色后，关机及移动功能的内部电路仍会令风扇继续运转片刻。（仅限于 VPL-CS7）

更换投影灯泡

注意

- 请用新的 LMP-E180（VPL-CS7）或 LMP-E150（VPL-ES2）投影灯泡进行更换。使用 LMP-E180 或 LMP-E150 以外的任何其他灯泡均可能会损坏投影机。
- 更换投影灯泡之前，必须先关闭投影机电源，并从交流电源插座拔下交流电源线。

注意

用 I/⏻ 键关闭投影机电源之后投影灯泡还会很烫。**如果此时触摸灯泡，会烫伤手指。更换投影灯泡时，请至少等 1 小时待灯泡冷却。**

注意

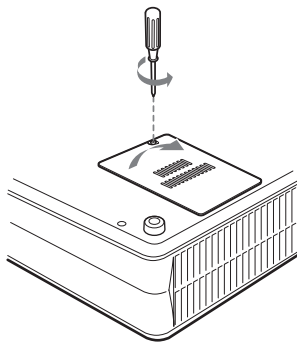
- **如果投影灯泡损坏，请向客户服务中心咨询。**
- 抓住把手将投影灯泡拉出。如果此时触摸灯泡，可能会被烫伤。
- 在取下灯泡时，请务必使之保持水平，然后直着拉出。不要倾斜投影灯泡。如果在倾斜时和灯泡损坏时拉出灯泡，碎片可能散落并导致伤害。

1 关闭投影机电源，并从交流电源插座拔下交流电源线。

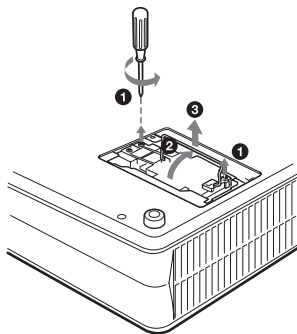
2 将保护纸（布）垫在投影机下。将投影机翻倒以便能看到底面。

注意

翻转投影机之后，务必使之平稳。

3 用 Phillips 十字螺丝刀拧松螺丝，打开投影灯盖板。

注意

为安全起见，请勿拧松任何其他螺丝。

4 用 Phillips 十字螺丝刀拧松投影灯装置上的两个螺丝（❶）。拉起把手（❷），然后用把手将投影灯泡装置（❸）拉出。

5 将新的投影灯泡完全插入，使其固定到位。拧紧两个螺丝。折回把手。

注意

- 小心不要碰到投影灯的玻璃面。
- 如果投影灯泡未装好，将无法接通电源。

6 关上投影灯盖板，拧紧螺丝。

7 将投影机翻转过来。

8 连接电源线。环绕 I/⏻ 键的 ON/STANDBY 指示灯点亮呈红色。

9 以下列顺序按遥控器上的下列键，按每个键的时间不要超过 5 秒钟：
RESET、◀、▶、ENTER。

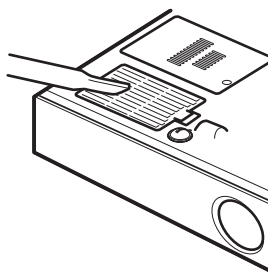
注意

请勿将手指放入投影灯泡更换处，也不要让任何液体或物体落入**以免发生触电或火灾**。

清洁空气滤网

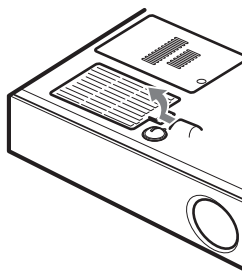
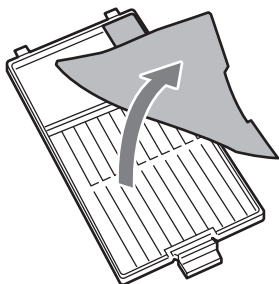
空气滤网应每过 500 小时即清洁一次。

当显示中出现“请清洁滤网”信息时，请用真空吸尘器从通风孔外面清除灰尘。

500 小时是大概的时间。其时间根据使用环境或投影机的使用方法而各异。

当滤网上的积尘变得难以用真空吸尘器除去时，请取下空气滤网清洗。

1 关闭电源并拔出电源线插头。

2 将保护纸（布）垫在投影机下，将投影机翻倒。

3 拆下空气滤网盖板。

4 卸下空气滤网。

5 用中性清洁剂溶液清洗空气滤网并在阴凉处晾干。

6 装上空气滤网并将盖板复位。

注意

- **如果忽视清洁空气滤网，将会导致灰尘集聚。从而导致内部聚热，以致引发机器的故障或火灾。**
- 如果积尘无法从空气滤网去除，请用随机附带的新空气滤网更换。
- 请务必牢固安装空气滤网盖板。否则将会导致灰尘积聚于投影机内，以致可能引发故障。

故障排除

如果投影机工作失常，请参照下列指示进行检查并解决问题。如果问题得不到解决，请向 Sony 公司的专业技术人员咨询。
关于症状的详细说明，请参见 CD-ROM 中所含的使用说明书。

信息

症状	原因和对策
电源接不通。	• 在很短的时间间隔内用 I/⏻ 键关闭和接通电源。 ➔ 接通电源之前请等候约 90 秒钟。 • 投影灯盖板脱落。 ➔ 关严投影灯盖板。
动力倾斜度调节器和透镜保护器不能关闭。	• 在投影机的电源接通时，交流电源线被拔下。 ➔ 再次连接电源线插头到交流电源插孔，然后关闭投影机电源。
无图像。	• 电缆脱落或接线错误。 ➔ 检查接线是否正确。 • 按照错误的步骤进行了连接。 ➔ 请选择正确的步骤。 • 输入选择不正确。 ➔ 使用 INPUT 键正确选择输入源。 • 电脑的信号未被设定为向外接显示器输出或电脑的信号被同时设定为向电脑的外接显示器和液晶显示屏输出。 ➔ 将电脑的信号设定为**仅**向外接显示器输出。 ➔ 根据电脑类型，例如笔记本型或全屏液晶显示型，您可能必须通过按特定键或改变电脑的设定切换电脑使之输出到投影机上。 *有关细节，请参阅随电脑附带的电脑使用说明书。*
图像有杂纹。	• 根据从连接器输入的点数与液晶显示面板的像素数的组合情况，背景上可能出现杂纹。 ➔ 改变所连接电脑的桌面图案。
来自 INPUT A 连接器的图像色彩异常。	• 操作设定菜单中“输入 A 信号选择”项目的设定不正确。 ➔ 根据输入信号正确选择“电脑”、“视频信号输入 GBR”或“分量”。
图像不清晰。	• 图像焦点未对准。 ➔ 调整焦距。 • 镜头上有结露。 ➔ 在接通投影机电源的情况下放置约两小时。

症状	原因和对策
图像超出屏幕。	• 在图像四周有黑边，但按了 APA 键。 ➔ 在屏幕上显示完整的图像，然后按 APA 键。 ➔ 调整好输入设定菜单中的“移位”项目。
图像闪烁。	• 输入设定菜单中的“点相位”项目未调整好。 ➔ 调整好输入设定菜单中的“点相位”项目。

指示灯

POWER SAVING（节电方式）	在投影机处于节电方式时点亮。
TEMP（温度）/FAN（风扇）	投影机内部温度变得异常高时点亮。检查是否有异物堵塞了通风孔。
	风扇损坏时闪烁。请与有资格的 Sony 人员联络。
LAMP（投影灯泡）/ COVER（盖板）	投影灯已到寿命或高温时点亮。等待 90 秒钟使投影灯泡冷却，然后重新打开电源，或更换灯泡。
	当投影灯盖板没有装严时闪烁。正确装上盖子。
I/⏻ 指示灯	在交流电源线插头插入墙上电源插座时点亮呈红色。一旦进入待机状态，即可按 I/⏻ 键接通投影机电源。
	在电源接通时点亮呈绿色。
	按 I/⏻ 键关闭电源后，冷却扇运转期间，闪烁呈绿色。在此期间，您将无法打开投影机。

规格

投影系统
3 块液晶显示板、1 个透镜、投影系统

液晶显示板　超高孔径的 0.62 英寸 SVGA 显示板，1440000 像素（480000 像素 × 3）

透镜　1.2 倍变焦镜头（手动）
f 18.0 至 21.6 mm/F2.2 至 2.4

投影灯泡　VPL-CS7：185 W UHP
VPL-ES2：157 W UHP

投影图像尺寸
范围：40 至 300 英寸（对角线测量）

光输出　VPL-CS7：1800 ANSI[1] lm
VPL-ES2：1500 ANSI[1] lm
（当投影灯模式设至“高位”时）

投影距离（当放置于地板上时）
输入 SVGA 信号时：
40 英寸：1.1 至 1.4 米
60 英寸：1.7 至 2.1 米
80 英寸：2.3 至 2.8 米
100 英寸：2.9 至 3.5 米
120 英寸：3.5 至 4.2 米
150 英寸：4.4 至 5.3 米
200 英寸：5.9 至 7.0 米
300 英寸：8.8 至 10.6 米

在实际值和以上所显示的设计值之间可能有微小的差别。

彩色制式　$NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/$NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60 制式，自动/手动转换

可接收的电脑信号[2]
fH：19 至 72 kHz
fV：48 至 92 Hz
（最大输入信号分辨率：XGA 1024 × 768 fV：85 Hz）

适用的视频信号
15 kHz RGB/分量 50/60 Hz、逐级分量 50/60 Hz、DTV (480/60i，575/50i，1080/60i，480/60p，575/50p，1080/50i，720/60p，720/50p，540/60p)、复合视频、Y/C 视频

尺寸　295 × 78 × 238 mm（宽/高/深）（不包含凸出部分）

重量　VPL-CS7：约 2.9 kg
VPL-ES2：约 2.8 kg

电源　交流 100 至 240 V，50/60 Hz

功耗　VPL-CS7：最大 250 W
VPL-ES2：最大 220 W
（待机状态：4.6 W）

随机附件　遥控器（1）
锂电池 CR2025（1）
HD D 副 15 芯电缆（2 m）（1）
(1-791-992-21)
携带包（1）
交流电源线（1）
空气滤网（更换用）（1）
使用说明书（CD-ROM）（1）
快速参考手册（1）
安全标签（1）

设计和规格如有变更，恕不另行通知。

选购附件

投影灯泡（更换用）
LMP-E180（仅限于 VPL-CS7）
LMP-E150（仅限于 VPL-ES2）

信号电缆　SMF-402（HD D 副 15 芯（雄）↔ 3 × 屏蔽型（雄））

1) ANSI 流明是美国国家标准 IT 7.228 定义的一种测量方法。（该亮度值为工厂出厂时的典型值；亮度设定为 100% 时）
2) 在投影机可接收预设信号范围内，设定所连接电脑的信号的分辨率和频率。

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：053-577-3861
（電話のおかけ間違いにご注意下さい）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後8時
土日、祝日　午前9時～午後5時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡下さい。修理に関する御案内をさせていただきます。

http://www.sony.net/

この説明書は100%**古紙再生紙を使用しています。**
はんだ付けに無鉛ハンダを使用
キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材から発泡スチロールを全廃し、段ボールを使用
Printed on 100% recycled paper.
Lead-free solder is used for soldering.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets and printed wiring boards.
Polystyrene foam for the packaging cushions is not used in packaging.
Corrugated cardboard is used for the packaging cushions.

Sony Corporation　Printed in Japan
ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35